

第6学年 社会科 指導計画・評価規準

江戸川区立一之江小学校

単元名	1. わたしたちの生活と政治			教科書のページ	政治・国際編 p.6～7
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)ア, イ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちのくらしを支えるしくみ			
・わたしたちのくらしは、どのようなしくみで支えられているのでしょうか。 p.6～7	1	①国の政治の中心地の写真を見て、気づいたことを話し合う。 ・首相官邸や国会議事堂、最高裁判所がある。 ②まちでくらしている人たちが、どんな願いや思いをもっているのかを話し合い、その願いと市や国の政治とのつながりに関心をもつ。 ・まちには、いろいろな人たちが、それぞれの願いをもってくらしていること。	[思判表] 発言・ノート
		めあて わたしたちのくらしと政治は、どのように結びついているのでしょうか。身のまわりのことから調べ、考えましょう。	

小単元名	1. わたしたちのくらしと日本国憲法			教科書のページ	政治・国際編 p.8～21
配当時数	6時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 日本国憲法の基本的な考え方について、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、我が国の民主政治を理解している。 - 調べたことを図表や文などにまとめ、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見だし、我が国の民主政治について考え表現している。 - 日本国憲法の基本的な考え方と国民生活を関連付けて、日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	日本国憲法の基本的な考え方について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) くらしの中の法やきまり			
つかむ 日本国憲法とはどのようなものなのでしょう。 p.8～9	1	①写真を見て、くらしの中にある法やきまりを探す。また、何のために法やきまりがあるのか考える。 - 車や歩行者が交通ルールを守ると、道路を安全に利用できる。 - ごみの収集日を守らなければ、臭いやよごれが発生してしまう。 - 法やきまりを守ることは、住みよい社会をつくることにつながっている。	[思判表]発言・ノート
(2) 日本国憲法の考え方			
つかむ 日本国憲法にはどのような考え方があるのか話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.10～11	1	①日本国憲法の基本的な考え方を知る。 - 日本国憲法は、戦後、人々が平和を願う中でつくられた。 - 日本国憲法には、三つの原則がある。 - 国民のことを考えた内容になっている。 ②くらしと日本国憲法のつながりについて気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。 - 教科書が無償で配られているのは、憲法に関係があったん	[思判表]発言

		だね。 ・憲法の考え方が、体の不自由な人やお年寄りなどみんなが暮らしやすくなるようにしていたんだ。 ・くらしと憲法のつながりには、他にどんなものがあるのだろう。	
		学習問題 わたしたちのくらしと日本国憲法の三つの原則は、どのようにつながっているのでしょうか。	
(2) 学習の進め方			
p.12～13	1	①単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。 ②学習問題に対する予想や調べ方などを発表し合い、学習計画を立てる。 ・日本国憲法の三つの原則は、市の政治に生かされているのではないか。 ・日本国憲法の考え方は、さまざまな立場の人々がくらしやすい社会をつくることにつながっているのではないか。 ・教科書や資料集に加えて、新聞記事や広報誌、インターネットで日本国憲法に関する資料を集めて調べていく。 ・憲法の三つの原則ごとに調べていく。 <調べること> ・基本的人権の尊重の考え方とわたしたちのくらしのつながり ・国民主権の考え方とわたしたちのくらしのつながり ・平和主義の考え方とわたしたちのくらしのつながり	[思判表]発言・ノート
(3) くらしの中の基本的人権の尊重			
・調べる 憲法の基本的人権の考えは、市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.14～15	1	①基本的人権を尊重する市の施策を調べ、憲法が定める国民の権利と義務について、わかったことや考えたことを話し合う。 ・基本的人権について考えるために、講演会を開いたり、標語を募集したりしている。 ・地域に住む外国人市民の生活もサポートすることも基本的人権の尊重という憲法の考え方につながっているんだね。 ②自分たちの身のまわりで基本的人権の尊重のように、さまざまな権利が保障されている例や、わたしたちが国民として果たすべき義務についてわかったことや考えたことを話し合う。 ・男女平等	[知技]発言・ノート

		・裁判を受ける権利 ・教育を受ける権利 ・居住の自由 ・政治に参加する権利 ・職業の自由 ・言論の自由 ・学問の自由 ・健康で文化的な生活を営む権利 ・三大義務（教育・勤労・納税） ③本時のめあてについての考えをまとめる。	
(4) 暮らしの中の国民主権			
・調べる 憲法の国民主権の考えは、市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.16～17	1	①国民主権につながるような市の施策を調べ、憲法が定める国民主権について、わかったことや考えたこと話し合う。 ・政治の代表を選ぶのは市民である。 ・市役所には、市民の意見を政治にいかすための制度がある。 ・市民の意見を聞き、市の条例をつくっている。地域をよくするためには、一人一人の行動が大切なんだ。 ②市だけでなく国のレベルでも、国民主権の考えが生かされている。 ・国会議員を選ぶのは国民である。 ・国民の声で政治が変わることがある。 ・最高裁判所の裁判官も国民が審査している。 ③本時のめあてについての考えをまとめる。	[知技]発言・ノート
(5) 暮らしの中の平和主義			
・調べる 憲法の平和主義の考えは、市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.18～19	1	①平和を願う市の施策を調べ、憲法が定める平和主義について考える。 ・公園に世界平和の鐘がある。 ・戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える取り組みがある。 ・平和と人権は強いつながりがあり、戦争がもっとも人権を侵害することだと思った。 ②市の平和を願う制度は、国でも同じように行われていることを調べ、わかったことや考えたことを話し合う。 ・沖縄や東京で行われている式典では、戦争でなくなった人を思い、平和を祈っている。 ・唯一の被爆国である日本は、世界に向けて平和を願う心をアピールしている。 ③本時の問いについての考えをまとめる。	[知技]発言・ノート

(6) 考えたことを整理して、自分の考えをノートに書く			
・まとめる 学習問題について調べたことを整理し自分の考えをノートに書き、友達と話し合ってみましょう。 p.20～21	1	①学習をふり返って、わたしたちのくらしに日本国憲法の考え方がどのように生かされているのか考える。 ・子どもはみな、学校で教育を受ける権利が保障されている。 ・18才以上のすべての国民に選挙権があり、政治に参加する権利が与えられている。 ・二度と戦争をしないことや平和への思いをもてるようにしている。 ②わたしたちのくらしに日本国憲法がどのように生かされているのか、さまざまな場面で考える。 ・車椅子が通りやすいように改札が広く作られている。だれもが生活しやすいという基本的人権の尊重の考え方が生かされている。 ・働く権利と義務がある。権利だけでなく、国民として果たさなければならない義務もある。 ・日本は二度と自ら戦争をしないことを決めている。 ③日本国憲法がなぜ大切にされているのか考え、話し合う。 ・三つの原則により、だれもが生活しやすいような権利が保障されたり、政治に参加したり、平和な国をつくったりすることができるようになっていく必要があると思う。 ・わたしたちのくらしは日本国憲法とは切っても切れない関係で結びついていて、わたしたちは憲法によって守られている。 ④学習問題についての考えをまとめる。	[思判表]発言・ノート [態度]発言・ノート

小単元名	2. 国の政治のしくみと選挙			教科書の ページ	政治・国際編 p.24～31
配当時数	4時間	活動時期	4～5月	学習指導要領 の内容	(1)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで、我が国の民主政治を捉え、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することを通して、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解するとともに、学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしている。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	・国会、内閣、裁判所のそれぞれの役割などについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、我が国の民主政治を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・国会、内閣、裁判所のそれぞれの役割に着目して、問いを見いだし、我が国の民主政治について考え表現している。 ・国会、内閣、裁判所の働きと国民を関連付けて考えたり、学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・国会、内閣、裁判所の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 国会の働き			
・調べる 国会の働きについて調べて整理したことをもとに、最後に一文で説明しましょう。 p.24～25	1	①国会の働きについて整理し、一文で説明する。 ・国会には衆議院と参議院がある。 ・国会議員は選挙で選ばれる。	[知技]ノート・最後の一 文
(2) 選挙のしくみと税金の働き			
・調べる 選挙のしくみや税金の働きについて調べましょう。 p.26～27	1	①選挙や税金に関する資料を収集して調べ、選挙のしくみや税金の働きについて整理し、一文で説明する。 ・国会議員、都道府県や市区町村の長や議員は選挙で選ばれる。 ・選挙権は、18才以上の国民に認められている。 ・公共サービスや公共施設にかかる費用の多くは、税金によってまかなわれている。	[知技]ノート
(3) 内閣の働き			
・調べる 内閣の働きについて調べて整理したことをもとに、最後に一文で説明しましょう。 p.28～29	1	①内閣に関する資料を収集して調べ、内閣の働きについて整理し、一文で説明する。 ・内閣は、内閣総理大臣が中心となって、国民のためにいろいろな仕事をしている。 ・内閣のもとで、省や庁が実際の仕事を受けもっている。	[知技]ノート・最後の一 文

(4) 裁判所の働き			
・調べる 裁判所の働きについて調べて整理したことをもとに一文で説明しましょう。最後に国会・内閣・裁判所の図を完成させましょう。 p.30～31	1	①裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きや裁判員制度について整理し、一文で説明する。 ・裁判所は、法律に基づいて、様々な問題を解決し、国民の権利を分担していること。 ②学習したことをもとに、三権分立の関係を示す図を完成させる。	[知技]ノート・最後の一文

小単元名	3. 子育て支援の願いを実現する政治			教科書の ページ	政治・国際編 p.34～44
配当時数	7時間	活動時期	5～6月	学習指導要領 の内容	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	- 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 - 調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見いだし、国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 - 国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え、表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちの願いと児童センター			
・つかむ 児童センターの様子と子どもをもつ親の願いについて話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.34～35	1	①児童センターを利用した経験を話し合う。 - 赤ちゃんや小さな子どもだけでなく、小学生や中学生も利用している。ここでけん玉を教えてもらったことがある。 - 誰でも無料で遊べて、小さな子どもを連れた親がたくさん来ている。お父さんも弟といっしょによく遊んでいる。 ②児童センターを訪ねて、どのような人が、なぜ利用しているのかを調べる。 - 小さい子どもを安心して遊ばせることができ、同じ年ごろの子どもをもつ親どうして話ができるので助かる。 - 子どもと遊べる道具や場所があるので、休みの日によく利用している。 - 遊びだけでなく勉強もできる。少人数で落ち着いて勉強できるし、教えてくれる人もいるので気に入っている。 - 児童センターには、子どもをもつ親の願いや工夫がある。 ③児童センターを訪ねてわかったことや疑問から学習問題をつくる。	[思判表]発言・ノート

		・児童センターは、どうやってつくられたのかな。 ・どうして無料で遊べるのかな。	
		学習問題 児童センターがつくられるまでには、どのような人たちの、どのような働きがあったのでしょうか。	
		④学習問題について予想し、学習計画を立てる。 ・児童センターの活動について ・児童センターができるまでの市役所の働きについて ・児童センターができるまでの市議会の働きについて ・児童センターができるまでの税金の働きについて	
(2) あすばるの活動			
・調べる あすばるでは、どのような活動が行われているのでしょうか。 p.36～37	1	①写真資料やあすばる所長の話を読み取り、あすばるではどのような活動をしているのかを調べる。 ・親子で遊ぶイベントや父親向けのイベントがある。 ・中学生や高校生の居場所となる工夫もある。 ・親への子育て支援事業もある。 ②施設を運営している人たちは、どのような目的をもって活動しているのかを考える。 ・子どもや親が安全で安心して遊べるようにする。 ・子どもだけでなく、親の子育てについてのサポートをする。 ・利用する人たちの思いや願いを参考にして活動する。	[知技]発言・ノート
(3) 市役所の働き			
・調べる 市では、どのような考えのもとにどのようにあすばるをつくったのでしょうか。 p.38～39	1	①市役所を見学したり、市役所の人に取材をしたりして、「あすばる」ができるまでの市役所の働きについて調べる。 ・児童センター「あすばる」の建設は、国の法律に基づいて進められた。 ・児童センター「あすばる」は、子育て支援を目的としており、市民の要望を反映して建設された。 ・市が計画案や予算案を作成し、市議会の話し合いで建設されることが決定した。 ②資料③の図を見ながら、児童センター「あすばる」ができるまでの市役所の働きを説明する。 ・子育て支援に関わる市民の要望を聞く。 ・国の法律に基づき、専門家を	[知技]発言・ノート

		入れて計画案をつくったり費用を計算したりする。 ・案を市議会に提出する。 ・国や県からの補助金を申請する。	
(4) 市議会の働き			
・調べる 議会では、どのようにしてあすばるをつくることを決めたのでしょうか。 p.40～41	1	①側注の「市議会の仕事」などを活用して、「あすばる」ができるまでの市議会の働きについて調べる。 ・市議会は、市役所の提案に基づき、「あすばる」をつくることやそのための予算を話し合っている。 ・その他の子育て支援事業や様々な事業も、国の法律や市民の要望に基づいて市議会で決定している。 ・市議会は、市の仕事が正しく行われているかをチェックしている。 ②資料③の絵や資料⑥の図を見ながら、市民と市議会の関わりについて考える。 ・選挙によって選ばれた市民の代表である市議会議員が、必要なことを話し合っている。 ・市民には議員を選挙で選ぶ大きな責任がある。 ・市だけで解決できない問題について、県や国に働きかけることも市議会議員の仕事である。 ・市民は市議会に請願をしたり、市議会の様子を傍聴したりできる。	[知技]発言・ノート
(5) 税金の働き			
・調べる あすばるをつくるための費用は、どこから出ているのでしょうか。 p.42～43	1	①子育て支援センター「あすばる」を建設、運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。 ・「あすばる」の建設に、1億4000万円かかっている。 ・「あすばる」の運営には、働く人の給料など、年間2000万円かかっている。 ・市は住民や会社から集めた税金や国や県からの補助金などを使って事業を行っている。 ②資料④「川口市の収入の内訳」などから、税金の集められ方やその使われ方について調べ、税金の役割について考える。 ・住民や会社が納める税金が一番多い。 ・納めた税金の中で一番多く使われるのは、市民の生活を支えるお金である。	[知技]発言・ノート

		・税金は、学校教育やごみ処理などにも多く使われている。 ・税金はわたしたちの生活を支える大切なもので、多くの人が必要とする事業に使われる。 ・国民には納税の義務があり、誰もが税金によるサービスを受けられる。	
(6) 学習問題をまとめる			
・まとめる 学習問題について、調べてわかったことを整理し、児童センターがつくられるまでの政治の働きについてまとめましょう。 p.44	1	①学習問題をふり返る。 ②市民と市役所と市議会の関係を表す矢印の意味を（ ）に書き入れ、図をもとに、児童センターがつくられるまでの政治の働きについて自分の考えをノートにまとめる。 ③一人一人がノートにまとめた政治の働きについて話し合い、グループで政治の働きを一つに整理する。 ④グループで整理したまとめを発表する。	[知技]発言・ノート [思判表]発言・ノート
(7) 公園づくりについて話し合おう			
・いかす みんなにとってよい公園にするにはどうしたらよいのか、考えてみましょう。 p.58～59	1	①どのような公園がよいのか、自分の願いを出し合う。 ②いろいろな人の話を聞いて、ほかにどのような立場があるか、考える。 ③多様な意見をまとめていくために、どのようなことに気をつけるべきか話し合う。	[思判表]観察・ノート [態度]観察・ノート

小単元名	3. 震災復興の願いを実現する政治			教科書のページ	政治・国際編 p.46～57
配当時数	7時間	活動時期	5～6月	学習指導要領の内容	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 - 調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見いだし、国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 - 国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 東日本大震災の発生		★他教科との関連:理科	
・つかむ 東日本大震災の発生とまちの人たちの願いについて話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.46～47	1	①「大震災直後の気仙沼の様子」や新聞の号外を見て、気づいたことや考えたことを発表し合う。 - まちが津波にのみこまれている。 - 家が流されている。 ②震災直後と現在のまちや漁港の様子を比べて、気づいたことを話し合う。 - 現在はがれきが撤去されて建物や道路が整備されている。 - 震災で大きな被害を受けた漁港では、3か月後にはかつおの水あげを再開している。 - だれがどうやって直したのだろう。 ③被災した人々の願いを実現するためにどうしたらいいか話し合い、学習問題をつくる。 - がれきは、国や県、市が取りのぞいた。 - 国や県、市が人々の願いを実現するように努力した。	[思判表]ノート
		学習問題 災害にあった人々の願いは、どのような人たちの、どのような働きによって実現されるのでしょうか。	

(2) 東日本大震災への緊急対応			
・調べる 東日本大震災が発生したとき、市や県、国は、どのような取り組みをしたのでしょうか。 p.48～49	1	①地震直後の市の取り組みについて調べる。 ・災害対策本部を設置して、避難所の開設や被害状況の確認などを指示したこと。 ・避難した住民のための水、食料、仮設トイレなどを県や他の市に要請したこと。 ②地震直後の県の取り組みについて調べる。 ・被害状況の情報収集をしたこと。 ・災害救助法を適用して自衛隊に派遣要請したこと。 ・必要な物資を被災地に送る準備をしたこと。 ③地震直後の国の取り組みについて調べる。 ・各県と連絡を取りながら、自衛隊の派遣人数を増やしたり、他国への救助要請、必要な物資や機材の準備を進めたりしたこと。 ・全国の消防署から緊急消防援助隊を派遣したこと。 ・自衛隊の災害派遣は何度かに分けて増員され、過去最大の10万人規模になったこと。	[知技]ノート
(3) 復旧・復興に向けた国の支援			
・調べる 復旧・復興に向けて、国はどのような取り組みを行ったのでしょうか。 p.50～51	1	①災害復旧に向けた国の取り組みを調べる。 ・復旧を進めるために、第一次補正予算を成立させたこと。 ・それにより、仮設住宅の建設、ライフラインの復旧、がれきの撤去、まちの整備を進められるようになったこと。 ②災害からの復興に向けた国の取り組みを調べる。 ・東日本大震災復興基本法を成立させたこと。 ・第二次補正予算、第三次補正予算を成立させたこと。 ・復興庁を設置し、長期的、計画的に支援を続ける体制をつくったこと。 ・復興にかかる費用は、国民や企業から集めた税金が使われること。	[知技]ノート
(4) 復興を願う市や市民の取り組み			
・調べる 復興に向けて、市や市民は、どのような計画を立てて、どのような取り組みをしてきたのでしょうか。 p.52～53	1	①市や市民の取り組みについて調べる。 ・市では、震災復興計画をつくり、計画に基づいて、復興に向けたさまざまな取り組みを行っていること。 ・新しいまちづくりに向けて、みんなで協力して取り組んでいること。	[知技]ノート

		・国や県、市の対応で震災から3か月でかつおの水あげが再開され、20年以上連続で生鮮かつおの水あげ日本一を達成したこと。そこには国や県、市の支援と市民の努力があったこと。	
(5) これからに向けたまちづくり			
・調べる これからに向けてどのような課題があり、どのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.54～55	1	①復興を進めている被災地で、現在課題になっていることを調べる。 ・震災前から人口の減少が課題となっている。 ②現在、どのような取り組みが行われているのかを調べる。 ・もっと魅力のあるまちにするために、市民と市役所が一緒になって取り組んでいる。 ・各地から移住してくる人への情報提供も行っている。	[知技]ノート
(6) 調べてきたことをまとめよう			
・まとめる 学習問題について調べてきたことを表にまとめ、自分の考えを書きましょう。 p.56	1	①災害にあった人々の願いと、政治の働きについて、表に整理する。 ・震災直後の市、県、国の取り組み ・災害復旧に向けた市、県、国の取り組み ・災害復興に向けた市、県、国の取り組み ・市や市民の復興への取り組み ・これからのまちづくり ②まちづくりを進めていくうえで大切なことは何か。自分の考えを書く。 ・まちの特色を生かしてさまざまなことに取り組んでいく。	[知技]ノート [思判表]ノート
(7) 公園づくりについて話し合おう			
・いかす みんなにとってよい公園にするにはどうしたらよいのか、考えてみましょう。 p.58～59	1	①どのような公園がよいのか、自分の願いを出し合う。 ②いろいろな人の話を聞いて、ほかにどのような立場があるか、考える。 ③多様な意見をまとめていくために、どのようなことに気をつけるべきか話し合う。	[思判表]観察・ノート [態度]観察・ノート

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 新聞を読もう			
・いかす 政治や憲法に関連した新聞記事から、気になったことを出し合おう。 p.62～63	1	①政治に関して気になった記事を選び、発表する。 ・選挙、内閣、司法、震災復興など ②みんなの発表を通して、感じたことや考えたことを話し合う。	[態度]発言・ノート

単元名	2. 日本の歴史			教科書の ページ	歴史編 p.2～7
配当時数	2時間	活動時期	6月	学習指導要 領の内容	(2)ア, イ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) (2) 歴史学習の基本をおさえよう①～③			
・身近にある歴史を見つけよう p.2～3 ・歴史博物館へ行こう p.4～5 ・年表の見方を知ろう p.6～7	2	①身のまわりの歴史を調べて、ノートやカード、地図などにまとめる。 ・現地に足を運ぶことを前提に、自分が住んでいる地域の歴史を調べる。次に県内の歴史を調べる。 ②「まなび方コーナー」を参考にして、歴史博物館の利用の仕方を学ぶ。 ③歴史博物館を訪ね、見学・体験をする。 ・資料の解説文を読んだり、学芸員から話を聞いたり、展示物や映像シアターなどを見たりして、調べ学習に取り組む。 ④「まなび方コーナー」を参考にして、年表の見方を調べる。 ・西暦、世紀、時代の意味を調べる。 ・時代と出来事をつなげる教科書の例題を考える。 ⑤年表をもとにして、時代ごとの主な人物について考える。 ・例示されている人物について、教科書を使って大まかな内容を調べる。	[思判表]ノート・観察
		めあて わたしたちの国の歴史には、どのようなできごとがあり、どのような人物の働きがあったのでしょうか。	

小単元名	1. 縄文のむらから古墳のくにへ			教科書のページ	歴史編 p.8～23
配当時数	7時間	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ア)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、むらからくにへと変化したことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）について考え表現している。 - 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 大昔のむらの暮らし			
つかむ 縄文のむらの暮らしの様子について話し合おう。 p.8～9	1	①三内丸山遺跡や出土品の写真，「縄文時代の人々の1年の生活」の図などを見て，当時の人々がどのように暮らしていたのか話し合う。 - たて穴住居とよばれる住まいに暮らしていた。 - 狩りや漁，採集中心の生活であり，食べ物が手に入らないこともあった。 - 生活に必要な道具を，石，木，骨などでつくっていた。 - ねん土を焼いてつくった縄文土器を使って煮たり焼いたりしていた。	[思判表]発言
(2) 板付遺跡と米づくり			
つかむ 米づくりが始まったころのむらや人々の様子について見てみましょう。 p.10～11	1	①板付遺跡や出土品の写真，米づくりの様子の想像図を見て，米づくりが始まり，人々の暮らしの様子がどのように変化したのか，気づいたことを話し合う。 - 米づくりのさまざまな道具が板付遺跡から出土している。 - 指導者を中心に力を合わせて米づくりをしている。 - 米づくりによって，食料を安定的に得ることができるようになった。	[思判表]ノート

(3) 縄文時代と弥生時代の想像図を見て			
・つかむ 縄文時代と弥生時代の想像図を見比べながら話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.12～15	1	①三内丸山遺跡と吉野ヶ里遺跡の想像図を調べて、それぞれの生活の様子について、わかったことや考えたことを話し合う。 ・縄文と弥生では、衣服の生地が違うようだ。住まいも変わってきた。 ・縄文のむらでは、狩りや漁をしたり、木の実をとったりしていたが、弥生のむらでは米づくりをし、とれた米を保存していたようだ。 ・弥生のむらでは、まわりに堀や柵がつくられている。兵士のような人もいる。 ②疑問に思ったことを発表し合い、学習問題をつくる。 ・食料を安定して手に入れられるようになって人口が増え、田も広がったのではないか。 ・道具はどのように変化していくのだろう。 ・弥生のむらにあった堀や柵は何のためにつくられたのだろう。 ・社会の様子は、どう変わっていったのだろう。	[思判表]発言・ノート
		学習問題 米づくりが始まったことで、人々のくらしや世の中は、どのように変わっていったのでしょうか。	
(4) むらからくにへ			
・調べる 米づくりの広がりによって、むらの様子はどのように変わったのでしょうか。 p.16～17	1	①米づくりの広がりによって、むらの様子がどのように変わっていったのかを調べる。 ・米づくりの広がりにより、むらとむらの間で争いが起こった。 ・むらの指導者は、むらを支配する豪族となり、豪族の中には、まわりのむらを従えてくにをつくり、王とよばれる人も現れた。人が集まることと交通が便利なことは、関係があるよ。 ・各地の王や豪族は、大陸の進んだ技術や文化をくにづくりに役立てた。	[知技]発言・ノート
(5) 巨大古墳と豪族			
・調べる 古墳は、何のために、どのようにして、つくられたのでしょうか。 p.18～19	1	①仁徳天皇陵古墳の写真、古墳を築いている様子の想像図、出土品などから、古墳づくりの目的、王や豪族たちの力の大きさについて考え、話し合う。 ・古墳の大きさ、多くの人を動員してつくらせたこと、出土品などから、古墳にほうむら	[知技]発言・ノート

		れた人物が大きな力をもっていたと言える。 王や豪族たちは、自分の力の大きさを示すために古墳をつくらせた。	
(6) 大和朝廷（大和政権）と国土の統一			
調べる 国土は、どのように統一されていったのでしょうか。 p.20～21	1	①大和朝廷の力が各地に広がり、国土がどのように統一されていったのかを調べる。 - 大和朝廷は大王を中心とした国の政府。 - ワカタケル大王の名が記された鉄刀と鉄剣が熊本県と埼玉県の古墳から出土したことから、大和朝廷の力の広がりが見える。 - 神話がつくられるほど、大和朝廷は、大きくて強い「国」になっていった。 - 渡来人の中には、建築や土木技術、焼き物などの技術を身につけた人々があり、進んだ技術を大陸からもたらした。	[知技] 発言・ノート
(7) 新聞にまとめる			
まとめる 学習問題について調べてきたことをノートに整理し、新聞にまとめましょう。 p.22～23	1	①学習問題について調べてきたことを、ノートに整理し、まとめる。 - 米づくりの広がりによって、むらがくにへと発展していった。 - 王や豪族たちは、渡来人の技術や文化をくにづくりに役立てた。 - 大和朝廷が勢力を広げ、国としての日本の形ができ上がっていった。 ②調べたことを整理して新聞をつくる。	[思判表] ノート・新聞 [態度] ノート・新聞

小単元名	2. 天皇中心の国づくり			教科書のページ	歴史編 p.24～34
配当時数	6時間	活動時期	7月	学習指導要領の内容	(2)ア-(イ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について考え表現している。 - 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 聖徳太子の国づくり			
・つかむ 聖徳太子が行った政治について整理し、学習問題をつくりましょう。 p.24～25	1	①中国を統一した隋の様子を調べたり、聖徳太子が遣隋使を派遣した目的について話し合ったりする。 - 隋は、皇帝を中心とした政治が整い文化が栄えていた。 - 聖徳太子は、小野妹子らを隋に送り、隋の進んだ制度や文化、学問を取り入れ、新しい国づくりに生かそうとした。 ②聖徳太子が行った政治について調べ、学習問題をつくる。 - 冠位十二階を定め、家柄に関係なく能力や功績で役人を取り立てた。 - 十七条の憲法を定め、政治を行う役人の心構えを示した。 - 豪族の力を押さえ、天皇中心の国づくりをめざした。 - 法隆寺などを建てて仏教の教えを人々に広めようとした。	[思判表]発言
		学習問題 聖徳太子がめざした天皇中心の国づくりは、だれが、どのように受けついでいったのでしょうか。	
		③中大兄皇子や聖武天皇の働きを調べる学習計画を立てる。	

(2) 大化の改新と天皇の力の広がり			
・調べる 聖徳太子の死後、だれが、どのような国づくりを進めたのでしょうか。 p.26～27	1	①中大兄皇子と中臣鎌足らがどのような政治を行ったのか調べる。 ・蘇我氏をたおし、大化の改新を進めた。 ・中国の政治の制度を手本にして、都から全国へ支配を進めていくしくみを整備した。 ・初めて年号を定めたり天皇が時間を管理したりした。 ・豪族が支配していた土地や人々は国のものになり、豪族は貴族として政治に参加した。 ・地方の豪族も役人となってそれぞれの地方を治めた。 ・中国にならって最初の本格的な都である藤原京を飛鳥につくった。 ②律令や都から運ばれてきた各地の主な産物について調べ、中国の政治の日本への影響を話し合う。 ・人々は、租・庸・調といった税を納めるとともに、役を務めた。 ・都には日本各地から多くの産物が運ばれ、それらを管理するのに木簡が使われた。 ・中国の政治を取り入れ、天皇の力が強くなった。	[知技] 発言・ノート
(3) 仏教の力で国を治める			
・調べる 聖武天皇は、どのようにして世の中を治めようとしたのでしょうか。 p.28～29	1	①当時の平城京の様子や地方の人々のくらしの様子について調べる。 ・平城京は中国風の都で、東西南北にのびる道路で碁盤のように区切られていた。 ・天皇や貴族、下級役人などがくらしににぎわいを見せていた。 ・地方の人々の生活は厳しく、重い税の負担に耐えかねて逃げ出すものもいた。 ②聖武天皇のころの主なできごとや天皇が行った政治について調べる。 ・病気によって多くの人々がなくなった。 ・全国各地で災害や反乱が起こるなど社会全体に不安が広がっていた。 ・聖武天皇は政治を安定させるため都を移した。 ・仏教の力で社会の不安をしずめようと、国ごとに国分寺を建てることを命じた。	[思判表] 発言・ノート

(4) 大仏をつくる			
・調べる 聖武天皇の大仏づくりは、どのように進められたのでしょうか。 p.30～31	1	①大仏の大きさや、大仏造営への聖武天皇の願いについて話し合う。 ・巨大な大仏を造り、世界を仏の力で照らし人々を救おうとした。 ・自分の力だけでなく、多くの人の協力を集め、大仏を造ろうとした。 ②どのように大仏が造られたのか調べる。 ・行基が大仏づくりに協力し、多くの人々に大仏をともに造ることを呼びかけた。 ・大仏づくりにはすぐれた技術をもつ渡来人も活躍した。 ・聖武天皇の命令で、全国からばく大な物資が集められて大仏が造られた。 ・のべ260万以上の人々が何年も働き、大仏が完成した。 ・開眼式には、天皇や貴族、僧など1万人以上の人々が国の平安を祈った。	[知技]発言・ノート
(5) 大陸の文化を学ぶ			
・調べる 奈良に都があったころ、日本は、大陸からどのようなことを学んだのでしょうか。 p.32～33	1	①遣唐使は、どのようなものを日本にもたらしたのか調べる。 ・聖武天皇は、唐から皇帝中心の政治のしくみや大陸文化を学ぼうと遣唐使を送った。 ・航海技術が発達していなかったもので、唐に渡るのは危険な旅だったが、遣唐使は危険を乗り越え唐に渡り、多くの大陸の文化や文物を日本にもたらした。 ・その一部は東大寺にある正倉院の宝物として保管されている。 ②聖武天皇が唐から招いた鑑真の活躍について調べる。 ・何回も失敗しながら来日を果たし、唐招提寺を建立し、日本で仏教を発展させた。 ③この頃日本は大陸との交流により、どのようなことを学んだのか話し合う。 ・中国の皇帝を中心とした政治のしくみ ・大陸の影響を受けた文化 ・仏教 など	[知技]発言・ノート
(6) まとめる			
・まとめる 学習問題について調べてきたことを表に整理し、最後に人物のせりふを書きましょう。 p.34	1	①これまでに調べたことを発表して、この時代の人物が、新しい国づくりのためにどのようなことを行ったのか、表に整理する。 ・「中大兄皇子、中臣鎌足、唐	[思判表]表・吹き出し [態度]表・吹き出し

		から帰国した留学生や留学僧」「聖武天皇」「行基」「鑑真」の四つの人物の観点で、新しい国づくりのために行ったことを整理 ②整理したことをもとに、それぞれの立場の人物になったつもりで、天皇中心の世の中について説明する。 ・聖武天皇…わたしは、多くの人々の協力を得ながら、天皇である自分のもっている力を使って全国に国分寺を建てたり大仏を造ったりして仏教の力で世の中を平和にしようと思いました。 ・農民…天皇中心の世の中は、実はわたしたち農民が支えていました。大仏づくりも、わたしたちの協力やがんばりがなければ実現しませんでした。	
--	--	--	--

小単元名	3. 貴族のくらし			教科書のページ	歴史編 p.36～41
配当時数	3時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ウ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、貴族の生活や文化を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、日本風の文化が生まれたことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、貴族の生活や文化について考え表現している。 - 貴族の生活や文化を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 貴族の生活や文化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 貴族と藤原道長			
・つかむ 藤原道長ら、貴族がどのようなくらしをしていたのか話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.36～37	1	①藤原道長が詠んだ歌の意味を考え、話し合う。 - この世はすべて自分の思い通りにできる。 - 娘を天皇の妃にし、強い権力を手に入れた。 - このころ貴族は大きな力をもっていた。 ②貴族は、どんなくらしをしていたのかを調べ、わかったことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。 - 広くて優雅な寝殿造のやしきに住んでいる。 - 広い庭や池もあり、そこで貴族が遊びを楽しんでいる。 - 貴族は蹴鞠を楽しんでいる。 - 食事も庶民とちがう。 - はなやかな文化が栄えたみたいだな。 学習問題 貴族が栄えていたころ、どのような文化が生まれたのでしょうか。	[思判表]発言
(2) 貴族のくらしの中から生まれた文化			
・調べる 藤原氏が栄えていたころ、どのような文化が生まれたのでしょうか。 p.38～39	1	①貴族のくらしの中から生まれてきた文化について、資料から調べる。 このころつくられた大和絵に	★他教科との関連:国語 [知技]発言・ノート

		は、貴族のくらしの様子が描かれている。 ・束帯や十二単などの服装が生み出された。 ・琴、琵琶、笛などをたしなみ、囲碁や双六で遊び、男子は、蹴鞠や乗馬も行った。 ・漢字からかな文字がつくられ、「源氏物語」など世界的な文学が生まれた。 ・小倉百人一首には、平安時代の女性の歌がたくさん含まれている。 ・中国の影響を受けながら、朝廷を中心として、貴族のくらしの中から美しくはなやかな日本風の文化が生まれた。	
(3) 今に伝わる年中行事			
・調べる 貴族が栄えていたころの年中行事で、今に伝えられているものには、どのようなものがあるでしょうか。 p.40	1	①貴族の年中行事で、今に伝えられ行われているものについて資料から調べる。 ・京都で行われている賀茂祭（葵祭）は、今から1200年前から始まり、今でも平安時代のいでたちの人々が行列をつくって市内を歩く。 ・曲水の宴は、貴族の遊びだったけど、今でも伝えられている。 ・お正月の行事や端午の節句、七夕などの行事も貴族の年中行事が今に伝わっている。 ・貴族の文化は、今でもわたしたちのくらしの中に生きている。	[知技] 発言・ノート
(4) キャッチコピーにまとめる			
・まとめる 学習問題について調べてきたことについて話し合い、平安時代の文化の特色を表すキャッチコピーを書きましょう。 p.40	1	①平安時代には、どのような文化が生まれてきたのか調べたことをもとに話し合う。 ・貴族のくらしの中からはなやかな文化が生まれた。 ・中国文化の影響を受けながら、日本独自の文化が生まれた。 ・貴族のくらしの中から生まれた文学は、日本だけでなく世界の人たちにも親しまれている。 ・貴族たちの行っていた年中行事の中には今も受けつがれているものがある。 ②平安時代の文化の特色をキャッチコピーに表現する。 ・今につながる日本風の文化	[思判表] 発言・キャッチコピー [態度] 発言・キャッチコピー

小単元名	4. 武士の世の中へ			教科書のページ	歴史編 p.44～54
配当時数	6時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(エ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。			
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。			
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて考え表現している。 - 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。			
	主体的に学習に取り組む態度	源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。			

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 武士の登場と武士の暮らし			
つかむ 武士とは、どのような人々で、どのような願いをもっていたのかについて話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.44～45	1	①「武士のやかたの様子（想像図）」をもとに、武士の生活の様子、武士と貴族のちがいなどについて考え、話し合う。 - 地方の武士は、自分の領地が見渡せる場所にやかたを建てて住んでいた。 - 一族や家来たちも近くに住んでいた。 - 武器の手入れや武芸の訓練、馬の世話などを行い、常に戦いに備えていた。 学習問題 武士の登場によって、世の中はどのように変わり、武士は、どのような政治を行っていったのでしょうか。	[思判表]発言・ノート
(2) 武士の政治の始まり			
調べる 武士は、どのようにして勢力をのばしていったのでしょうか。 p.46～47	1	①平清盛の活躍について年表にまとめたりして調べ、武士の政治の始まりと平氏の政治の特色について考える。 - 武士のなかには武芸を認められて朝廷や貴族に仕え、大きな力をつけていく者が現れた。 - 平清盛は、むすめを天皇のきさきとして生まれた子を天皇に立てるなど、朝廷の中で重い役を独占して強い力をもつようになった。	[知技]発言・ノート

(3) 源氏と平氏が戦う			
・調べる 源平の戦いで、源氏は平氏をどのように破ったのでしょうか。 p.48～49	1	①源義経の活躍について図書館などで伝記を探すなどして調べ、鎌倉に幕府が開かれるまでの経緯をまとめる。 - 源頼朝が平氏をたおそうと兵をあげると、自分たちの領地を認めてくれる新しいかしらを求めている武士が次々に集まった。 - 源義経に率いられた軍が、一ノ谷、屋島で平氏を破り、壇ノ浦で平氏をほろぼした。	[知技] 発言・ノート
(4) 頼朝が東国を治める			
・調べる 頼朝は、どのようにして武士たちを従えていったのでしょうか。 p.50～51	1	①鎌倉の地図やご恩と奉公の関係図、政子のうったえなどをもとにして、源頼朝が武士たちをどのように従えていったのかを考える。 - 源頼朝はご恩と奉公の主従関係で武士を従えた。 - 承久の乱の後、鎌倉幕府の力は西国にまで及ぶようになり、執権の北条氏を中心とした幕府は法律や裁判の制度を整えて支配力を強めていった。	[知技] 発言・ノート
(5) 元の大軍がせめてくる			
・調べる 鎌倉幕府は、どのようにして元軍と戦い、その後は、どうなっていたのでしょうか。 p.52～53	1	①元の大軍との戦いの様子を絵図や写真などをもとに調べ、この戦いが鎌倉幕府にどのような影響をおよぼし、幕府の力がどのように弱まっていったのかを考える。 - 元は日本に服従を求めてきたが、執権の北条時宗はその要求を退けた。 - 武士たちは、元軍の集団戦法や火薬兵器（てっほう）などに苦しみながら、恩賞を得るために一所懸命に戦った。	[知技] 発言・ノート
(6) まとめる			
・まとめる 学習問題について調べてきたことを整理し、自分の考えを4コマまんがで表しましょう。 p.54	1	①武士の発生から元寇までの世の中について、いくつかの視点で整理する。 - 天皇や貴族のくらしと武士のくらしのちがいはどのようなことか。 - 平氏の政治と源氏の政治のちがいはどのようなことか。 ②関係する人物のせりふを考え、4コマまんがを完成させる。 - 元寇の竹崎季長の各場面のせりふを考えて、お互いに発表し合う。 - 他の人物についても場面を設定してせりふを考え、お互いに発表し合う。	[思判表] 4コマまんが・ノート [態度] 4コマまんが・ノート

小単元名	5. 今に伝わる室町文化			教科書のページ	歴史編 p.56～61
配当時数	3時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(オ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。 - 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 足利義政が建てた銀閣			
つかむ 銀閣の様子を見たり、金閣と比べたりしながら話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.56～57	1	①金閣と銀閣の写真を比較し、資料をもとに調べる。 - 金閣は、足利義満が建てて、はなやか。 - 銀閣は、足利義政が建てて、とても落ち着いた印象で、金閣と全く違う。 ②「書院造の部屋」や年表をもとに、わかったことや疑問をもとに話し合い、学習問題をつくる。 - 障子やふすまがあつて、現在の和室に似ている。 - 書院造は、現在の和室とつながりがあるのかもしれない。 - 室町時代に、茶の湯や生け花などが流行している。 学習問題 室町時代の文化は、どのようなものだったのでしょうか。	[思判表]発言
(2) 新しい文化が生まれる			
調べる 室町時代の文化には、どのような特色があるのでしょうか。 p.58～59	1	①雪舟の「天橋立図」を見て、気づいたことを話し合い、雪舟や水墨画について調べる。 - 墨の濃淡がとても素晴らしい。 - 雪舟は、中国から伝えられた	[知技]ノート

		すみ絵を芸術として大成させた。 ・日本の自然の美しさを求めて描き、独特の技法で、国宝の作品にもなっている。 ②室町時代に生まれた、茶の湯や生け花について調べる。 ・室町時代にお茶を飲む習慣が広まり、茶室もつくられるようになった。 ・書院造の床の間を飾る生け花も盛んになった。 ・今では、日本人だけでなく外国人も親しんでいる。 ・庭園づくりも当時は盛んになった。	
(3) 室町文化と現在のつながり			
・調べる 室町時代に生まれた文化には、ほかにどのようなものがあるのでしょうか。 p.60～61	1	①室町時代に生まれた、お祭り、能や狂言について調べる。 ・室町時代に、民衆の力が高まり、お祭りやぼんおどりが各地で行われるようになった。 ・能は、観阿弥や世阿弥によって大成された。 ・狂言は、民衆の生活などを題材に、多くの人が楽しんだ。 ②室町時代に民衆に広まった習慣を調べる。 ・1日3回食事をする習慣が起った。 ・しょうゆや砂糖も使われるようになった。	[知技]ノート
(4) まとめ			
・まとめる 学習問題について調べたことを整理し、「ことば」を使って室町時代の文化のしょうかい文を書きましょう。 p.61	1	①これまでに調べたことを発表し、ことばを使って、室町時代の文化の紹介文を書く。 ・現在でも、茶の湯や生け花は日本人だけでなく外国人にも親しまれている。 ・室町時代の書院造は、現在の和室に受け継がれている。 ・雪舟のすみ絵の作品は、現在も多くの人に感動を与えている。	[思判表]紹介文・ノート [態度]紹介文・ノート

小単元名	6. 戦国の世から天下統一へ			教科書のページ	歴史編 p.64～75
配当時数	6時間	活動時期	10月	学習指導要領の内容	(2)ア-(カ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料を調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ、戦国の世が統一されたことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子、人物の働きや文化遺産などに着目して、問いを見だし、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え表現している。 ・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 戦国大名の登場			
・つかむ 長篠の戦いがあったころの世の中の様子について話合しましょう。 p.64～65	1	①資料[1]「長篠の戦い」を見てわかったことや感じたことを発表する。 ・織田信長や豊臣秀吉などの有名な武将がいる。 ・川をはさんで、織田・徳川の連合軍と武田軍が戦っている。 ・左の織田・徳川の連合軍は馬を防ぐ柵をつくって鉄砲で戦い、右の武田軍は騎馬隊で戦っている。 ・織田信長が鉄砲に目をつけて、長篠の戦いで使ったのがすごい。 ②このころの世の中がどのような様子だったのかを資料[3]「1570年ごろの主な戦国大名」を見て話し合う。 ・日本各地に、戦国大名と呼ばれる力をもった武将がいた。 ・お互いの力を広げるための戦国大名の戦いが、全国各地で100年ほど続いた。 ・鉄砲を使った織田信長はかなり強かったのではないかな。	[思判表]発言

(2) 天下統一を進めた二人の武将			
・ つかむ 年表や資料を見ながら話し合っ て学習問題をつくり、 学習計画を立てましょう。 p.66～67	1	①年表や資料①, ②を参考にして、この時代の様子や疑問に思ったことを話し合う。 ・ 織田信長は、家来の豊臣秀吉や徳川家康と力を合わせて天下統一を目指したのではない か。 ・ 天下統一のためには、戦いだけでなく、もっと他のことも行ったのではない か。 ・ 鉄砲が外国から入ってきたように、天下統一のためには、外国との関わりも関係があるのではない か。 ②出された疑問をもとに学習問題をつくる。	[思判表]発言・ノート
		学習問題 織田信長、豊臣秀吉は、どのようにして戦国の世をおさめていったのでしょうか。	
		③学習問題に対して予想を立て、予想を確かめるために調べることを決めて学習計画を立てる。 ・ 外国との関わりを調べる。 ・ 戦いの様子を調べる。 ・ 政治の様子を調べる。 ④調べ方やまとめ方についても話し合う。 ・ 教科書、資料集 ・ 図書館等の本 ・ インターネットでの情報収集 ・ VTR ・ 信長と秀吉について調べ、わかったことをもとにテーマを決めて話し合う。 (ミニディスカッション)	
(3) ヨーロッパ人の来航			
・ 調べる 戦国の世、日本と外国にはどのようなかわりがあったのでしょうか。 p.68～69	1	①この時代の日本が、外国とどのように関わっていたのかを資料①, ③の地図を見て調べる。 ・ ポルトガルやスペインが世界の様々なところに出かけていて日本にもやってきた。 ・ 鉄砲のように、このころヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってくるようになった。 ・ ザビエルは九州に来て、そこから西日本を通過して京都までやってきた。 ②ヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってきて日本にはどのような影響があったのかを資料⑤, ⑥やグラフを見て調べる。 ・ 鉄砲は戦い方を大きく変えた。 ・ 外国の品物が入ってきたことで栄えてきた町がある。	[知技]発言・ノート

		・キリスト教を信じる人が年々増えていった。	
(4) 安土城と織田信長			
・調べる 織田信長は、天下統一をするために、どのようなことを行ったのでしょうか。 p.70～71	1	①織田信長が、天下統一に向けてどのようなことを行ったのか、戦いの様子を調べる。 ・鉄砲を使うなど、戦い方を工夫した。 ・堺などの商業都市をおさえて豊富な資金を手に入れ、それで武器を買った。 ・その武器を使って、少しずつ勢力を広げ、室町幕府も滅ぼした。 ・常識にとらわれず、天下を統一しようとする強い気持ちがあった。 ②織田信長が、天下統一に向けてどのようなことを行ったのか、政治の様子を調べる。 ・自らの力を示すために安土城を築いた。 ・強い力をもっていた仏教勢力をおさえた。 ・キリスト教を保護した。 ・誰でも商売ができるようにして（楽市・楽座）、商業や工業を盛んにした。	[知技]発言・ノート
(5) 大阪城と豊臣秀吉			
・調べる 豊臣秀吉は、天下統一をするために、どのようなことを行ったのでしょうか。 p.72～73	1	①豊臣秀吉が、天下統一に向けてどのようなことを行ったのか、戦いの様子を調べる。 ・織田信長に仕えて有力な武将になった。 ・織田信長にそむいた明智光秀を倒した。 ・朝廷から関白に命じられ、全国の大名や仏教勢力をおさえて天下統一を成し遂げた。 ・幼いころから賢く、人の嫌がる仕事も引き受けて力をつけていった。 ②豊臣秀吉が、天下統一に向けてどのようなことを行ったのか、政治の様子を調べる。 ・大阪城を築いて政治の拠点とした。 ・金や銀の鉱山をおさえるなどしてばく大な財力を蓄えた。 ・検地で確実に収入を得られるようにした。 ・刀狩令で百姓が反抗できないようにした。 ・武士の世の中のしくみが整えられた。 ・朝鮮に大軍を送ったが失敗した。 ・大陸の影響を受けた文化 ・仏教 など	[知技]発言・ノート

(6) まとめる			
・まとめる 天下統一を進めた二人の武将の働きについて、学習したことをもとに話し合いました。 p.74～75	1	①学習問題をふり返る。 ②二人の武将が行ったことをグループで表に整理し、「天下統一に向けての働きがより大きかったのは信長か秀吉か」をテーマに、自分の考えをノートに書く。(10分) ③役割を決めてミニディスカッションをする。 ・信長の働きが大きかったと考える児童2名 ・秀吉の働きが大きかったと考える児童2名 ・司会1名 ・4人のパネラーがテーマについての自分の考えを述べる。 ・パネラーどうしで質問や意見を述べ合う。 ・パネラーの話を聞いていた人たちからパネラーへ質問や意見を述べ、それぞれの考えを伝え合う。(25分) ④ミニパネルディスカッションで出された意見を参考に、学習問題についてのまとめとして自分の考えを書く。	[思判表]発言・ノート [態度]発言・ノート

小単元名	7. 江戸幕府と政治の安定			教科書のページ	歴史編 p.76～86
配当時数	6時間	活動時期	10月	学習指導要領の内容	(2)ア-(キ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え表現している。 - 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 徳川家康と江戸幕府			
つかむ 江戸幕府が力を強め、政治を安定させたしくみについて話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.76～77	1	①徳川家康が、どのようにして、江戸幕府を開いたのか調べる。 - 三河の小さな大名の子に生まれ、苦勞を重ねたが、成長するとともに勢力を伸ばし、戦いにすぐれた強い武将として知られた。 - 秀吉の死後、多くの大名を味方につけて勢力を強め、関ヶ原の戦いで対立する大名を破り、全国支配を確かなものにした。 - 朝廷から征夷大將軍に任じられ、江戸に幕府を開いた。 - 豊臣氏を滅ぼすと同時に、全国に一国一城令を出し、大名の住む城以外の城の破壊を命じた。 ②江戸幕府が、親藩、譜代、外様といった大名をどのように配置し、どのような場所を直接支配したのか調べ、話し合う。 - 外様大名がすぐに江戸を攻められないよう工夫して配置している。 - 主な鉱山や主要な都市は幕府が直接支配している。	[思判表]発言

		学習問題 江戸幕府は、どのようにして力を強め、政治を安定させようとしたのでしょうか。	
		③学習計画を立てる。	
(2) 将軍による支配の安定			
・調べる 徳川家康が開いた江戸幕府は、徳川家光にどのように受けつがれたのでしょうか。 p.78～79	1	①徳川家光が、どのようにして江戸幕府を受け継ぎ、権力を確立したか調べ、話し合う。 ・日光東照宮は家光の権力を大名たちに見せつけるうえで大きな役割を果たした。 ・家光は江戸城と江戸の町を大幅に改修し、天下にふさわしい城下町を作った。 ・家康から家光のころの間、武家諸法度に反したなどの理由で、全国の多くの大名が取りつぶされ、将軍の力はますます強くなった。 ・江戸幕府のしくみは家光のころに確立し、安定した世の中をむかえた。	[知技]ノート
(3) 大名の取りしまりと参勤交代			
・調べる 幕府は、どのようにして多くの大名を従えていったのでしょうか。 p.80～81	1	①江戸幕府が全国の名大を従えるために、どのようなしくみを整えたかを調べ、話し合う。 ・家光が将軍のころ、大名が行列を組んで領地と江戸との間を行き来する参勤交代の制度が整えられた。 ・大名は自分の城と領地を持っていたが、1年おきに江戸の屋敷に住まわされ、将軍に対して服従の態度を示した。 ・大名の妻と子どもは江戸の屋敷での生活を義務づけられた。 ・将軍は参勤交代の制度を利用して、全国の名大を従えることができた。 ・大名にとって、江戸での生活は多くの費用がかかった。 ・大名は将軍に命じられ、さまざまな土木工事の費用や労力を負担した。 ・参勤交代のために、幕府は五街道をはじめとする主な道路を整備した。その結果、旅人や飛脚の行き来もさかんになり、江戸の文化が各地に広がるきっかけとなった。	[知技]発言・ノート
(4) 人々のくらしと身分			
・調べる 江戸時代、人々は身分に応じて、どのようにくらししていたのでしょうか。 p.82～83	1	①江戸時代の人々が身分に応じてどのようにくらししていたのかを調べ、話し合う。 ・江戸時代の社会は、武士、百姓、町人など、さまざまな身分の人々によって構成されて	[知技]発言・ノート

		いた。 ・ 武士や町人は城下町に集められ、身分によって住む場所が決められた。 ・ 江戸時代の人口の80%以上は、百姓でしめられていた。 ・ 百姓は名主を中心に、自分たちで村を運営した。 ・ 百姓は農村や山村、漁村に住み、収穫の半分にもなる重い年貢を納めたり、いろいろな力仕事をさせられたりした。 ・ 百姓は農具を改良したり、肥料をくふうしたりして、農業技術を進歩させた。 ・ それ以外にも皇族、公家、宗教者、芸能者など、さまざまな身分がみられた。また、百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた身分の人々もいた。	
(5) キリスト教の禁止と鎖国			
・ 調べる 幕府は、どのようにしてキリスト教を禁止したのでしょうか。 p.84～85	1	①江戸幕府が、どのようにキリスト教を禁止していったのか調べて話し合う。 ・ 幕府は初めのころ、外国との貿易をさかんにしようとしていたが、キリスト教信者が増え、幕府の命令に従わなくなることが心配して、キリスト教を禁止するようになった。 ・ 幕府は島原・天草一揆を、大軍を送っておさえした後、絵踏みを取り入れ、キリスト教をいっそう厳しくとりしめるようになった。 ・ 幕府はキリスト教を徹底して排除するとともに、海外貿易の利益を独占した。	[知技]ノート
(6) まとめる			
・ まとめる 学習問題について調べてきたことを整理し、最後に、当時の人々になったつもりでせりふをうめましょう。 p.86	1	①江戸幕府が政治を安定させるために、人々に対して行ったことを整理する。 <大名に対しての例>日光東照宮や江戸城の建設を通じて幕府の力を見せつけながら、武家諸法度と参勤交代によって将軍に従わせた。 <百姓や町人などに対しての例>身分に応じて異なる場所に住まわせたり、年貢や役などのさまざまな負担を行わせたりした。 <キリスト教の信者や外国の貿易船に対しての例>キリスト教を厳しく禁止するとともに、貿易相手の国と貿易の場所を限り、幕府が貿易を独占した。 ②江戸幕府の政治について、	[思判表]まとめシート [態度]まとめシート

		人々がどう思ったかを考える。 <外様大名の例> 1年おきに江戸に住んで将軍に従うのは大変だ。領地で妻や子供と一緒にくらしたい。 <百姓の例> 年貢や役の負担が大変だ。せめて農具や肥料を改良して、農業の技術を高めよう。 <オランダの商人の例> 自分たちはキリスト教を広めないから貿易をひとりじめできる。でも、長崎の出島での貿易はとてもきゅうくつだなあ。	
--	--	---	--

小単元名	8. 町人の文化と新しい学問			教科書のページ	歴史編 p.90～98
配当時数	5時間	活動時期	11月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ク)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解できるようにするとともに、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて考え表現している。 - 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 江戸や大阪のまちと人々の暮らし			
つかむ 江戸や大阪のまちの様子やほかの資料をもとにして、当時の社会について話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.90～91	1	①江戸や大阪のまちの様子について資料をもとに調べ、話し合う。 - 江戸の両国橋付近は、橋の上、広場、川のどこも花火見物の人であふれかえり、とてもにぎやかだ。 - 大阪のまちは、経済の中心地として栄え、多くの物が江戸に運ばれた。 - 社会が安定するにつれて商業が発達し、武士以外の人々の中にも学問や文化に親しむ人が現れるようになった。 - 両国橋や芝居小屋にたくさんの人が集まっている。 - 役者や風景などを描いた浮世絵という多色刷りの版画について、描き方や誰が買ったかなどが気になる。 - 蘭学や国学といった学問で活躍した杉田玄白や本居宣長はどんなことをしたのだろう。 学習問題 江戸時代の後半には、どのような新しい文化や学問が生まれ、社会にどのように広がったのでしょうか。 ②学習計画を立てる。	[思判表]発言

(2) 人々が歌舞伎や浮世絵を楽しむ			
・調べる 歌舞伎や浮世絵は、人々の間で、どのように親しまれていったのでしょうか。 p.92～93	1	①近松門左衛門の活躍の様子について調べ、歌舞伎が、人々にどのように親しまれていったのか話し合う。 ・各地の城下町の芝居小屋は、いつも大勢の人でにぎわっていて、芝居見物は人々の大きな楽しみだった。 ・近松門左衛門の歌舞伎や人形浄瑠璃の作品は、力をつけてきた町人の生き生きとした姿や義理人情を描き、人々に親しまれた。 ・近松の作品は、現在でも名作としてさまざまな舞台上で上演されている。 ・歌舞伎は地方にもさまざまな形で広まり、今でも演じられているところがある。 ②歌川広重の活躍の様子を調べ、浮世絵が人々にどのように親しまれたのか話し合う。 ・浮世絵は版画として大量に刷られたので安く売られ、多くの人々に買い求められた。 ・歌川広重が東海道の名所や風景を描いた「東海道五十三次」は大量に印刷され、江戸からふるさとへのみやげとしても買い求められ、多くの人の手に渡った。 ・町人や百姓が、観光をかねて寺や神社にお参りする旅に行けるようになったことも、名所や風景を描いた浮世絵が流行した背景にあった。 ・19世紀後半には、広重らの浮世絵は海外でも、鑑賞されるようになった。	[知技]ノート
(3) 新しい学問・蘭学			
・調べる 蘭学は、どのような学問で、社会にどのようなえきょうをあたえたのでしょうか。 p.94～95	1	①二つの解剖図を比べたり、オランダ語の医学書を翻訳する際の苦労などについて調べたりする。 ・「解体新書」の解剖図の方が正確に描かれている。 ・杉田玄白らは、どんな困難があってもオランダ語の医学書を日本語に訳そうとした。 ・満足な辞典がないため、医学用語の翻訳に大変苦労し、4年の間に11回も書き改めた。 ②江戸時代初期と伊能忠敬の日本地図を比べたり、忠敬がどのように測量を進めたのか調べたりする。 ・伊能忠敬の日本地図は、現代の日本地図とほとんど変わらず、正確である。	[知技]ノート

		・伊能忠敬は、当時としては新しい天文学や測量術を学び、それを生かして、全国を歩いて測量し、正確な日本地図を作り上げた。 ③蘭学が当時の人々の考え方に与えた影響について調べ話し合う。 ・医学のほかにもヨーロッパの地理学や天文学、兵学など新しい知識や技術を日本に役立てようとする人々が現れた。 ・そうした人々の中から、もっと世界に目を向けて、政治や社会がこのままではいけないと考える人々も出てきた。	
(4) 国学の発展と新しい時代への動き			
・調べる 国学は、どのような学問なののでしょうか。また、新しい時代への動きは、どのようなものだったのでしょうか。 p.96～97	1	①国学はどのような学問なのか、本居宣長は国学の発展にどのような働きをしたのか調べ話し合う。 ・国学とは、仏教や儒教などが中国から伝える前の日本人が持っていた考え方を研究しようとする学問で、「古事記」や「万葉集」の中に日本人の心を探ろうとした。 ・本居宣長は、「古事記」の研究に全力を注ぎ、35年かけて「古事記伝」を完成させた。 ・本居宣長は社会や政治にも目を向け、政治を行う人の心構えを説いた。 ・国学は江戸時代の後半、地方の人々の間に広まり、天皇を尊いものとして、政治の現状を批判する人たちも現れた。 ②江戸時代後半の新しい時代の動きについて調べる。 ・大きなききんや物価の上昇によって、百姓一揆や打ちこわしが全国各地で起きた。 ・百姓一揆や打ちこわしを人々の中には、幕府や藩に社会の問題を解決する力がなくなっていることに気づく人が出てきた。 ・新しい学問を学ぶ人や武士の中からも、幕府や藩を批判する人が現れた。 ・長州藩や薩摩藩などでは藩の政治を改革する動きが出てきた。	[知技]ノート

(5) まとめる			
・まとめる 学習問題について調べてきたことを整理し、キャッチフレーズをつくって発表しましょう。 p.98	1	①近松門左衛門，杉田玄白，本居宣長がどのようなことをしたかをまとめ，説明する。 ＜近松門左衛門の例＞歴史上の物語や実際に起きた事件を題材にして，歌舞伎や人形浄瑠璃について約150編の脚本を書いた。 ＜杉田玄白の例＞人体の解剖を見学して，オランダ語の解剖図が正確に描かれていることに驚き，苦勞して翻訳し，「解体新書」と名づけて出版した。 ＜本居宣長の例＞古い時代の日本人が持っていた考え方を明らかにするために「古事記」の研究にうちこみ，「古事記伝」を完成させた。 ②歌舞伎，浮世絵，蘭学，国学について，特色を表すキャッチフレーズをつくり，みんなで発表する。 ＜国学のキャッチフレーズの例＞昔の日本人の心を探る ＜浮世絵のキャッチフレーズの例＞安く楽しめる名所の風景	[思判表]まとめシート [態度]まとめシート

小単元名	9. 明治の国づくりを進めた人々			教科書のページ	歴史編 p.102～115
配当時数	7時間	活動時期	11月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ケ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え表現している。 - 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 江戸から明治へ			
つかむ 江戸から明治への変化について話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.102～103	1	①江戸時代末ころと明治時代初めの日本橋近くの様子や寺子屋と学校とを比べ、変わったことを明らかにする。 - 服装・髪型・乗り物・建物・ガス灯の有無 - 校舎の様子・先生の服装・学び方など ②江戸時代末から明治時代初めの20～30年くらいの間に社会全体に大きな変化が起きたことを明治維新ということをつまみ、学習問題をつくる。 学習問題 明治維新では、だれが、どのように、世の中のしくみを整えていったのでしょうか。	[思判表] 発言・ノート
(2) 若い武士たちが幕府をたおす			
調べる 明治維新を進めた人々は、どのような思いをもっていたのでしょうか。 p.104～105	1	①「ペリーの上陸」の絵やペリーの肖像画などから、江戸時代末に起こったことを明らかにする。 1853年に4 せきの軍艦を率いてやってきた。 - 幕府はとても驚いた。 1854年に日米和親条約を結んで開国し、鎖国の状態が終わった。 - その後、1858年には日米修好	[知技] 発言・ノート

		通商条約を結んで、外国との貿易が始まった。 ・物価が急に上がって人々の不満が高まった。 ・長州藩や薩摩藩は外国と戦ったが力の差が大きいことがわかった。 ②開国後に武士たちがどのような思いをもって活動し、世の中がどのように変わったのかを明らかにする。 ・木戸孝允、大久保利通、西郷隆盛らは、強い国づくりを進めるために、新しい政府をつくる運動を始めた。 ・15代将軍徳川慶喜は、1867年に政権を朝廷に返した。 ・1868年、明治天皇の名で五箇条の御誓文を定め、新しい時代が始まった。	
(3) 大久保利通と明治新政府の改革			
・調べる 欧米に学んだ大久保利通は、どのような国づくりをめざして取り組んでいったのでしょうか。 p.106～107	1	①新しい政府がどのように政治を進めようとしたのかを調べる。 ・政治の方針が日本中に広まるようにするために、廃藩置県を行った。 ・政治の中心となった大久保利通や木戸孝允らはヨーロッパの国々に追いつくために、工業をさかんにし、強い軍隊をもつという富国強兵に力を入れた。 ②外国で学んだ大久保利通らが進めた取り組みを調べ、国づくりの特色を話し合う、 ・近代的な工業を始めるために、外国から機械を買い、技師を招いて国が運営する官営工場を開いた（富国強兵）。 ・武士にかわり、訓練された近代的な軍隊をもつために徴兵令を出した。 ・国の収入を安定させるために、土地に対する税のしくみを改めた（地租改正）。	[知技] 発言・ノート
(4) 新しい世の中の文化や生活			
・調べる 明治時代になって、人々の生活は、どのように変わっていったのでしょうか。 p.108～109	1	①文明開化の意味を明らかにし、人々の生活の変化を調べる。 ・文明開化により、西洋から多くのことが紹介されたりとり入れられたりした。 ・新しい時代の学問を学び、それにふさわしい生き方や考え方に興味をもつ人が多くなった。 ・1871年には身分制度が変わり、国民は平等であるとされた。	[知技] 発言・ノート

		・1872年に学制が公布され、6歳以上の男女が学校に通うようになってきた。 ・鉄道が開通したり、郵便制度ができたり電信が始まりました。	
(5) 板垣退助と自由民権運動			
・調べる 政府の改革に不満をもつ人々は、どのような行動をとったのでしょうか。 p.110～111	1	①政府の改革に不満をもつ士族の行動を調べ、世の中の変化を明らかにする。 ・多くの士族は、武士として得ていた収入を失って生活に困るようになった。 ・西郷隆盛を中心とする西南戦争などの士族による反乱が各地で起こったが、すべて政府の軍隊によってしずめられた。 ・その後、言論で主張する世の中に変わった。 ②自由民権運動の特色を調べ、その成果を話し合う。 ・板垣退助らは国会開設を主張し、人々の間にも政治参加を求める声が出てきた。 ・国会を開き、憲法をつくることを求める動きは自由民権運動として各地に広がった。 ・政府は様々な条例を定めて厳しく取りしまったが、1881年に政府は1890年に国会を開くことを約束した。	[知技]発言・ノート
(6) 伊藤博文と国会開設、大日本帝国憲法			
・調べる 伊藤博文は、どのような思いをもって大日本帝国憲法をつくったのでしょうか。 p.112～113	1	①国会開設に先立って板垣退助や大隈重信らが行ったことを調べる。 ・自由党や立憲改進黨といった政党がつくられた。 ・日本各地でさまざまな立場の人々が憲法の案をつくった。 ・伊藤博文は、ドイツで憲法を学び、内閣制度をつくった。また、初代内閣総理大臣に命じられ、憲法をつくる仕事に力を注いだ。 ②大日本帝国憲法や国会の特色を明らかにし、国の政治のあり方について話し合う。 ・1889年、天皇が国民にあたえるという形で大日本帝国憲法が発布された。 ・大日本帝国憲法は、天皇が主権をもち、軍隊を率いたり条約を結んだりするのも天皇であった。 ・国会は、貴族院と衆議院からなり、衆議院議員のみ国民の選挙で選ばれた。 ・選挙権は一定の税金を納めた25歳以上の男子のみであつ	[知技]発言・ノート

		た。 ・ 1890年に第 1 回の国会が開かれた。	
(7) まとめる			
・ まとめる 調べたことを年表でふり返し、学習問題について話し合ひましょう。最後に、自分の考えをノートにまとめましょう。 p.114～115	1	①これまで調べたことを想起し、多くの人物が明治維新で様々なことを行ったことを年表にまとめる。 ・ 木戸孝允，大久保利通，板垣退助，西郷隆盛，伊藤博文らの業績を中心にまとめる。 ②年表などを活用し，明治維新で国や社会のしくみがどのように変わったのかを話し合っ て，自分の考えをノートにまとめる。	[思判表]年表・ノート [態度]年表・ノート

小単元名	10. 世界に歩み出した日本			教科書のページ	歴史編 p.116～126
配当時数	6時間	活動時期	12月	学習指導要領の内容	(2)ア-(コ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて考え表現している。 - 日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 条約改正をめざして			
・つかむ 日本は江戸時代の終わりに結んだ条約によって、どのようなえいきょうを受けていたのか話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.116～117	1	①ノルマントン号事件の風刺画を見て話し合い、不平等条約の存在に気づく。 ②図を見て不平等条約の内容について話し合う。 - 外国人が日本で罪をおかしても日本の法律でさばくことができない（領事裁判権）。 - 修好通商条約は、日本に關稅自主權が認められていない（輸入品にかかる税金を自由に決められない）不平等条約だった。 - 領事裁判権を認めたこと、關稅自主權が認められていないことは日本にとって不利である。 ③読み取った資料からわかったこと、疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。	[思判表] 発言・ノート
		学習問題 日本は、条約改正をめざして、どのような努力をしたのでしょうか。また、世界の中で、日本の立場や国民の生活には、どのような変化が起こったのでしょうか。	

(2) 発展していく日本		★他教科との関連:算数	
・調べる この時代、日本はどのように国づくりを進め、世界に歩み出していったのでしょうか。 p.118～119	1	①紡績工場と製糸工場の写真、前の見開きの年表を見て、気づいたことを話し合う。 ・とても大きな工場で、たくさんの女工と呼ばれた人々が朝から晩まで働いていた。 ・日本は、10年間で2回も戦争をしている。 ②「日本の西洋クラブへの仲間入りをえがいたまんが」を見て気づいたことを話し合う。 ・前の見開きの鹿鳴館の絵も参照する。 ・日本は何とかして欧米諸国への仲間入りをしたかった。 ・欧米諸国は、あまり歓迎しなかった。 ③条約改正に向けた陸奥宗光の願いや働きを読み取る。 ・1894年、外務大臣の陸奥宗光は、そのころ最も力の強かったイギリスと交渉して、領事裁判権をなくすことに成功した。	[知技]発言・ノート
(3) 中国やロシアと戦う			
・調べる 二つの戦争によって、日本と世界の国々との関係は、どのように変わっていったのでしょうか。 p.120～121	1	①「朝鮮をめぐる日本、ロシア、中国」の風刺画を見て、朝鮮をめぐる三国の関係について話し合う。 ②教科書の本文や資料を見て、二つの戦争の様子や結果を読み取る。 ・日清戦争も日露戦争も、朝鮮半島の支配をめぐる戦いだった。 ・戦場は主に朝鮮半島や中国東北部（満州）だった。 ・日清戦争で、日本は清から賠償金を得るとともに台湾などを植民地とした。 ・日露戦争で、日本はロシア艦隊を破り、樺太の南部と満州の鉄道などを得た。 ・日露戦争では、日清戦争よりもずっと多い戦死者が出た。 ・二つの戦争を通して、日本の国際的な地位が向上した。	[知技]発言・ノート
(4) 世界へ進出する日本			
・調べる 世界の中で日本の立場は、どのように変わっていったのでしょうか。 p.122～123	1	①写真や地図を見て、日本が朝鮮の人々にどのようなことをして、それを朝鮮の人々はどう思ったのかを考える。 ②小村寿太郎が条約改正に成功して関税自主権が回復されたことの意義を考える。 ③世界で活躍した日本人の様子や国内での新しい文学や科学の発展について調べる。 ・新渡戸稲造は国際連盟の事務	[知技]発言・ノート

		局次長を務めた。 ・北里柴三郎，志賀潔，野口英世らは医学の発展に尽くした。 ・文学の世界では，夏目漱石，樋口一葉，与謝野晶子，正岡子規らが活躍した。	
(5) 生活や社会の変化			
・調べる 産業の発展によって，人々の生活や社会はどのように変化したのでしょうか。 p.124～125	1	①産業の発展によって生活がどのように変わってきたのかを調べる。 ・八幡製鉄所の写真から重工業が発達した様子がわかる。 ・電車やバスなどの交通機関が発達し，ラジオ放送が始まり，洋服が普及するなど，人々の生活や社会が大きく変化した。 ②人々の民主主義への意識の高まりについて調べる。 ・衆議院議員の選挙権が25歳以上の男子となった。 ・平塚らいてう，市川房枝などを中心として女性の地位向上をめざす運動が広がった。	[知技] 発言・ノート
(6) まとめる			
・まとめる 学習問題について調べてきたことを人物カードに整理し，最後に，自分の考えをノートにまとめましょう。 p.126	1	①学習問題について調べてきたことを人物カードに整理する。 ②学習問題を通して考えたことをノートにまとめる。 ・日本は，条約改正をめざして，どのような努力をしてきたのか。 ・日本が条約改正を達成できたのは，日本の国力が充実したからである。 ・世界の中で，日本の立場や国民の生活にはどのような変化が起こったのか。	[思判表] 人物カード・ノート [態度] 人物カード・ノート

小単元名	11. 長く続いた戦争と人々の暮らし			教科書のページ	歴史編 p.128～140
配当時数	7時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容	(2)ア-(サ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを手掛かりに、我が国と中国との戦いが全面化したことや、連合国との戦いによる敗戦、広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解できるようにするとともに、学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ、我が国と中国との戦いが全面化したことや、連合国との戦いによる敗戦、広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて考え表現している。 ・日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを関連付けたり総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことを考えたり、学習してきたことを基に、歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 世界文化遺産の原爆ドーム			
・つかむ 被爆前と後の広島の写真や年表などの資料をもとに話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.128～129	1	① 3枚の原爆ドームの写真を見て、気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・まち全体が焼け野原になり、ドームも破壊されている。 ・どうしてこんなことが起こったのだろう。 ・原爆ドームはどうして世界文化遺産になったのだろう。 ② 平和記念資料館の館長さんの話を読んで、原爆ドームが世界文化遺産になった理由を考えたり、年表と関連づけて、長く続いた戦争や当時の人々の生活について話し合ったりして、学習問題をつくる。 ・悲劇が二度と起きないようにとの願いから、原爆ドームの保存運動が進められた。	[思判表] 発言・ノート

		・世界平和をめざすちかいのシンボルとして1996年に世界文化遺産に登録された。 ・日本は、15年にわたる長い間、戦争をしていた。 ・戦争中の人々は、どのような生活をしていたのだろう。 ・いったいどんな戦争だったのだろう。	
		学習問題 長く続いた戦争は、人々にどのようなえいきょうをあたえたのでしょうか。	
		③学習計画を立てる 〈調べること〉 ・戦争がどのようになっていったのか。 ・国民は、どのような生活をしていったのか。 ・沖縄戦や広島・長崎への原爆投下は、どのような被害があったのか。	
(2) 中国との戦争が広がる			
・調べる 日本が中国で行った戦争は、どのような戦争だったのでしょうか。 p.130～131	1	①満州事変、日中戦争を起こした理由や戦争の広がりについて調べる。 ・不景気で日本でも生活に苦しむ人が多くなり、中国に勢力をのばして不景気を回復しようという考えが国民の間に広められた。 ・満州の利益を守らないと日本がほろびると主張する人々がいた。 ・1931年に、満州にいた日本軍が中国軍を攻撃し、満州事変となった。 ・国際連盟が満州の独立を認めなかったので、日本は国際連盟を脱退し国際的な孤立を深めた。 ・満州から中国各地に戦争が拡大したこと。 ・中国の人々が日本の侵略に抵抗し、戦争は、長く続くこととなった。	[知技]発言・ノート
(3) 戦争が世界に広がる			
・調べる 戦争は、どのように世界に広がっていったのでしょうか。 p.132～133	1	①そのころの世界の様子を調べる。 ・ドイツがまわりの国々を侵略し、イギリスやフランスなどと戦争になり、アジアやヨーロッパも戦場となる第二次世界大戦となった。 ②日本の戦争の広がりを調べる。 ・石油などの資源を得るため、東南アジアに軍隊を進めた。	[知技]発言・ノート

		・ドイツ、イタリアと軍事同盟を結び、アジアの地域を支配しようとした。 ・アメリカやイギリスなどの国々と東南アジアや太平洋を戦場とした太平洋戦争になった。 ・戦場が拡大し、戦争が激しくなると、多くの男性が召集令状によって兵士として戦場に送られた。 ・日本は初めのうちは勝利したが、国力に勝るアメリカ軍の反撃により敗戦を重ねていった。 ・国民は、政府の言葉や報道を信じて、戦争に協力させられた。	
(4) すべてが戦争のために			
・調べる 戦争中、人々は、どのような生活をしていたのでしょうか。 p.134～135	1	①戦争中の生活の様子について調べる。 ・人々を戦争の協力させるために政府は戦時体制を強めていき、くらしは、すべて戦争のために制限された。 ・戦争に協力しない行動は厳しく取りしまられた。 ・まちには戦争協力をよびかける看板があふれた。 ・たくさんの戦争に協力する気持ちを高めるための標語がつけられた。 ・天気予報などの情報も戦争に関する重要な情報として国民に知らされなかった。 ・食料や衣類は配給制になった。 ・女子学生が工場で働くようになった。 ・小学生は地方へ集団疎開した。 ・学校でも軍事訓練が行われた。 ・子どもが読む雑誌も戦争を題材にしたものが多くなった。	[知技] 発言・作品
(5) 空襲で日本の都市が焼かれる			
・調べる 日本各地の都市は、空襲によって、どのような被害を受けたのでしょうか。 p.136～137	1	①東京大空襲の想像図、空襲の写真、空襲を受けた都市の地図などを調べて、わかったことや考えたことを話し合う。 ・1944年になると、アメリカ軍が日本の都市を空襲するようになり、人々は防空壕をつくって逃げこんだ。 ・工業がさかんで人口が多い太平洋ベルトを中心に、全国各	[知技] 発言・ノート

		地が空襲の被害にあった。 ・ 軍事施設や工場だけでなく、住宅地も爆撃され、焼け野原になった。 ・ 木造の建物が多い日本では、火災を起こす焼夷弾が使われた。 ②東京大空襲を体験した元木さんの話から、空襲の被害について考え、話し合う。 ・ 焼夷弾でまちが火の海になったこと。 ・ 人々は、生きるために必死だったこと。	
(6) 原爆投下と戦争の終わり			
・ 調べる 戦争はどのようにして終わったのでしょうか。 p.138～139	1	①沖縄戦の写真や手記などをもとに調べて、わかったことを話し合う。 ・ 1945年、アメリカ軍が沖縄に上陸し、一般市民や今の中高生くらいの生徒までが動員された。 ・ 当時の沖縄県民60万人のうち12万人以上の人々が亡くなったといわれている。 ②原爆投下や玉音放送を聞く人々の写真などを見て、わかったことや考えたことを話し合う。 ・ 日本軍は各地で敗北し、多くの都市が空襲され、沖縄は占領された。 ・ 1945年8月6日に広島、8月9日には長崎に原子爆弾が落とされ、一瞬にして何万人もの命が奪われた。 ・ 満州や樺太南部、千島列島にソ連軍が攻め込んできた。 ・ 日本は8月15日に降伏し、15年にもわたる戦争が終わり、同時に日本による台湾と朝鮮の植民地支配が終わった。 ・ 今では、毎年8月15日に、戦争の犠牲者をいたみ、平和を願う全国戦没者追悼式が行われている。	[知技]発言・ノート
(7) まとめる			
・ まとめる これまで調べてきたことを図に整理し、学習問題についての考えをまとめましょう。 p.140	1	①それぞれの場所における戦争の影響や、当時の人々の生活について、調べたことをワークシートの図に整理する。 ・ 戦場となった東南アジア各国の人々に大きな損害を与えた。 ・ 広島・長崎の人々は一発の爆弾で、一瞬にして何万にも命がうばわれ、町はふきとん	[思判表]発言・ワークシート [態度]発言・ワークシート

		でしまった。 ・小学生も学校で戦争の訓練をし，集団疎開で親元をはなれ地方に避難した。今の中学生くらいの年齢になると勉強をしないで学校や工場で働いた。 ・多くの国民は，戦時体制で生活のすべてを戦争に協力させられ，やがて敗戦が続くと空襲の被害にあい多くの人が亡くなった。 ・満州に渡った人々は，終戦直前にソ連軍が攻めてきて，逃げる中で多くの人が亡くなり，日本に帰れず，残留孤児となった人がいた。 ・召集令状で集められ戦場で兵士として戦った人々は，戦場で苦しい体験をし多くの人が命を落とした。 ②戦争が人々に与えた影響について，調べたことをもとに友達と話し合っ自分の考えをワークシートに書く。 ・戦争は，戦場で戦った兵士だけでなく，多くの国民の命をうばい，国民生活に大きな影響と非常な苦しみを与えた。また，海外で戦場となった国々の人々にも大きな被害を与えた。このような悲劇を繰り返さないためにも，戦争は二度と行ってはならない。	
--	--	---	--

小単元名	12. 新しい日本, 平和な日本へ			教科書のページ	歴史編 p.142～155
配当時数	7時間	活動時期	1～2月	学習指導要領の内容	(2)ア-(サ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに、学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。
	思考・判断・表現	- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて考え表現している。 - 日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを関連付けたり総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会において果たしてきた役割を考えたり、学習してきたことを基に、歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 敗戦直後の人々の暮らし			
・つかむ 写真から気づいたことや疑問を出し合い、学習問題をつくりましょう。 p.142～143	1	①敗戦直後の資料から、気づいたことを話し合う。 - 戦争が終わっても、家を焼かれて住むところがなかったり、暮らしに必要なものがなかったりして、大変な生活だったんだ。 - 戦後、栄養失調でなくなったり、戦争で孤児になった子どもたちがいたりし、戦争が終わっても大変さは変わっていない。 ②新宿の3枚の写真を見比べて気づいたことを話し合い、学習問題をつくる。 - 東京オリンピックのころにはかなり復興している。 - 現在はビルも建て替わり、ずいぶんにぎやかだ。	[思判表]発言・ノート

		・焼け野原だったのに、今は発展している。どのように変わっていったのか。	
		学習問題 戦後の日本は、人々のくふうや努力によって、どのように変わっていったのでしょうか。	
		③年表をもとに予想を話し合い、学習計画を立てる。 ・日本は戦争のない平和な国になったのではないかな。 ・日本は国際社会にもどれたのではないかな。 ・日本は、オリンピックが開けるほど、世界に認められるようになったのではないかな。	
(2) 民主主義による国をめざして			
・調べる 戦争の後、日本ではどのような改革が行われたのでしょうか。 p.144～145	1	①戦後改革や日本国憲法について調べる。 ・民主主義の国として再出発するために、戦後改革が行われた。 ・女性に選挙権が保障された。 ・教育の制度が変わった。 ・日本国憲法が制定され、日本の進む方向として平和主義と民主主義が定められた。 ②調べたことを年表にまとめ、「一言コメント」を書き込む。 ・男女平等の世の中になった。 ・今の学校のしくみになった。	[知技] 発言・ノート
(3) 再び世界の中へ			
・調べる 日本が世界の仲間にもどるまでには、どのようなことがあったのでしょうか。 p.146～147	1	①「サンフランシスコ平和条約」や「国際連合への加盟」「産業の復興」について調べ、年表にまとめる。 ・1951年に48か国と平和条約を結んだ。 ・1952年に占領が終わり、主権を回復した。 ・沖縄はまだアメリカに占領されたままだ。 ・ソ連や中国などの国とは、平和条約を結ぶことができなかった。 ・1956年に国際連合への加盟が認められた。 ・アメリカの協力や国民の努力によって産業が復興し、生活が向上した。	[知技] 発言・ノート
(4) 高度経済成長の中の東京オリンピック			
・調べる 産業の発展により、人々の生活はどのように変化したのでしょうか。 p.148～149	1	①東京オリンピック・パラリンピックの開催と、それに関連するできごとを調べ、当時の人々の気持ちについて考える。 ・アジアで最初のオリンピックが開かれた。 ・オリンピックのための競技施	[知技] 発言・ノート

		設だけでなく、ホテルが建てられ、道路・下水道が整備された。 ・高速道路や地下鉄も作られた。 ・東京と大阪の間に東海道新幹線がつくられ、移動の時間が大幅に短縮された。 ・オリンピックが開催できるほど復興したことを世界に伝えることができ、うれしい。 ②東京オリンピック・パラリンピック開催前後の国民生活の変化について調べる。 ・テレビや自動車が普及した。 ・国民総生産額が世界第2位になった。 ・高度経済成長のおかげで、公害などの環境問題が生まれてきた。	
(5) 変化の中の日本			
・調べる 日本は今、どのような変化の中にいるのでしょうか。 p.150～151	1	①東京オリンピック・パラリンピック後の世界や日本が抱える課題とその取り組みについて調べる。 ・世界各地で起こる紛争を防ぐために、国際連合を中心に、努力がされている。 ・日本では、大きな地震が発生し、大きな被害がもたらされた。被災した地域には、日本中からも外国からも多くのボランティアが集まり、復興の力になった。 ②取り組みについて考えたことを話し合う。 ・課題はたくさんあるが、解決するために努力をしていくことが大切だと思った。 ・避難場所でボランティアをしている小学生もいた。自分たちができることもあると思った。 ・わたしたち一人一人が関わっていくことが大切だと思った。	[知技]発言・ノート
(6) これからの日本を考えよう			
・調べる これからの日本は、どのような国をめざしていったらよいのでしょうか。 p.152～153	1	①世界に広がる日本の文化や技術を調べる。 ・和食がユネスコ無形文化財に登録された。日本の食が世界から評価されている。 ・日本のアニメは世界でも人気がある。 ・ノーベル賞を受賞している日本人がたくさんいる。世界に貢献している。 ②現在の日本が抱える課題や果たすべき役割について調べ、考えたことを話し合う。	[知技]発言・ノート

		〈国内の問題〉 ・お年寄りや障がいのある人たちの人権 ・子どもや女性の人権 ・アイヌ民族，在日韓国・朝鮮人などへの偏見や差別 ・経済不況，食料自給率の問題 ・東日本大震災からの復興 〈外国との関係に関する問題〉 ・沖縄のアメリカ軍基地 ・北朝鮮の拉致問題，核開発 ・領土をめぐる問題 〈世界の問題〉 ・戦争と平和，核，環境	
--	--	--	--

(7) まとめる

・まとめる 「ことば」を使って，学習問題について調べたことを年表に整理し，キャッチフレーズをつくりましょう。 p.154～155	1	①表に整理されたできごとに，一言コメントを書く。 ・1946年：日本国憲法が公布される —平和と民主主義が新しく進む方向だと定められた。 ・1964年：東京オリンピック・パラリンピックが開かれる —産業をさらに発展させた。など ②時代を表すキャッチフレーズをつくり，友だちと話し合う。 ・「国民に自信をあたえた東京オリンピック・パラリンピック」理由は，東京オリンピックで自信をつけ，戦後の復興がさらに進んだから。 ・「今の平和な日本のもとになった日本国憲法」理由は，憲法の三つの原則の一つに平和主義があり，日本は平和と民主主義の国になったから。	[思判表]発言・ノート [態度]発言・ノート
---	---	---	---------------------------

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 歴史学習をふり返ろう			
・いかす カードを使って，これまで学習してきた歴史をふり返ろう。 p.156～157	1	①これまで学習してきた時代の社会の様子を書いたカードをつくる。 ・米づくりが始まり，生活や社会の様子が変化した。 ・室町時代のころ生まれた文化は，今も多くの人々に親しまれている。など。 ②カードを見ながら，現在のわたしたちのくらしとのかかわりについて発表し合う。 ・大陸や海から伝わった米づくりは，現在では日本各地で行われている。 ・日本の世界遺産など多くの文化財が，人々の努力によって	[思判表]発言・ノート [態度]発言・ノート

		大切に保存されている。 ③歴史を学ぶ意味について考え、意見文を書く。 ・各時代の人々の努力の積み重ねによって、現在の日本や自分たちの生活がある。 ・昔の人々が知恵を出し合い、努力してつくってきた今の日本をさらによい国にしていきたい。	
--	--	---	--

単元名	3. 世界の中の日本			教科書の ページ	政治・国際編 p.64～65
配当時数	1時間	活動時期	2月	学習指導要 領の内容	(3)ア, イ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 人類共通の願い			
・わたしたち人類は、どのような 共通の願いを持っているのでし ょうか。 p.64～65	1	①国際社会が抱える問題の解決 に向け、日本のわたしたち が、世界の人たちとどのよう なことをしていけばよいのか を話し合う。 ・さまざまな問題の解決に向け て、世界の人たちと協力して いく必要があること。 めあて わたしたちは、どのようにして、世界の人々と ともに生き、平和な社会を築いていけばよいのでしょ うか。	[思判表]発言

小単元名	1. 日本とつながりの深い国々			教科書の ページ	政治・国際編 p.66～97
配当時数	7時間	活動時期	2月	学習指導要領 の内容	(3)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		グローバル化する世界の日本の役割について、外国の人々の生活の様子などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現することを通して、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにするとともに、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとする。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	- 外国の人々の生活の様子などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。 - 調べたことを図表や文などにまとめ、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	- 外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見だし、日本の文化や習慣との違いについて考え表現している。 - 世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、国際交流の果たす役割を考えたり、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えたり選択・判断したりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 外国の人々の生活の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本と関係の深い国を探そう		★他教科との関連: 外国語	
つかむ これまでの社会科の学習や日ごろの生活をふり振り返り、日本とつながりの深い国を見つけて、話し合ひましょう。 p.66～67	1	①外国から入ってきた身のまわりのものや文化やスポーツを通じた交流について話し合う。 - 野球は、アメリカからきた。 - 日本の文化は中国からたくさん影響を受けていて、漢字などが伝わった。 - 韓国のキムチやチヂミは日本でも食べられている。 - サウジアラビアから石油を輸入している。 - 日本は、色々な国と輸出入の関係がある。 ②日本と関係が深そうな国を四つに整理する。	[思判表] 発言・ノート
(2) 調べる国を決めよう			
つかむ 学習問題をつくり、日本とつながりの深い国を1か国選び、人々の生活について調べる学習計画を立てましょう。 p.68～69	1	①4か国の基本情報を整理し、日本とつながりの深い国々について調べてみたいことを話し合い、学習問題をつくり、予想を出し合う。 気候や宗教によって、服装や	[思判表] 発言・ノート

		食べ物が違ってくるのではないか。 ・中国や韓国などの近い国なら，共通点が多いと思う。 ・産業や文化，スポーツなどでつながりが深いかもしれない。	
		学習問題 日本とつながりの深い国の人々は，どのような生活をしていて，その生活には日本とどのようなちがひがあるのでしょうか。	
		②学習問題について予想し，学習計画を立てる。	
* 児童に4か国から1か国を選択させる。			
アメリカと日本 p.70～75			
(3) アメリカの学校の様子			
・調べる アメリカの小学生は，どのような生活をしているのでしょうか。 p.70～71	1	①アメリカの学校の様子について，テレビ電話でアメリカに住んでいる人に質問をしたり，集めた資料を活用したりして調べる。 ・小学校への通学は，自転車やスクールバスなどを利用している。 ・成績がよい場合は，上の学年に飛び級ができることもある。 ・いろいろな人種や民族の子どもが通っている。 ・昼食は，給食のところもあるが，売店を利用することもある。 ・夏休みが2か月あって，日本よりも長い。	[知技]ノート
(4) 人々のくらしと年中行事			
・調べる アメリカの人々のくらしや年中行事は，どのようなものなのでしょうか。 p.72～73	1	①アメリカの人々の休日の過ごし方や年中行事について調べ，話し合う。 ・休日には，家族でハイキングに行ったり，野球の試合を見たりして過ごしているのは，日本と同じ。 ・大型スーパーでまとめて買っている。日本にもアメリカからきた大型スーパーがある。 ・ハロウィンには仮装をしてお菓子をもらったり，感謝祭やクリスマスには家族や親戚が集まったりしてごちそうを食べる。 ・アメリカでも日本でも人気の食べ物やスポーツがたくさんある。	[知技]ノート
(5) 広い国土を生かした産業と多文化社会			
・調べる アメリカには，どのような産業があり，どのような人々がくらししているのでしょうか。 p.74～75	1	①アメリカの産業や多文化社会について，集めた資料を活用して調べ，話し合う。 ・アメリカは，広い国土を生かして，小麦や大豆を大量に生産していて，日本と違う。	[知技]ノート

		・アメリカは、宇宙開発が進んでいて、日本や世界各国が開発に参加したり協力したりしている。 ・アメリカは、多文化社会といわれている。 ・ロサンゼルスには日系人が多く住んでいて、日系人の祭りがある。 ②アメリカについて調べてきたことを、カードに整理する。 ・学校や人々の様子、仕事や産業の様子について調べたことをカードに整理する。	
中国と日本 p.76～81			
(3) 中国の人々の生活			
・調べる 中国のまちや小学校の様子は、どのようになっているのでしょうか。 p.76～77	1	①中国のまちや小学校の様子について、集めた資料を活用して調べ、話し合う。 ・首都北京には、高層ビルや世界文化遺産があつて、ファッションも日本と同じように楽しんでいる。 ・大都会の中に、古い住宅も残っている。 ・学校では、たくさんの漢字を教えていて、英語の授業も盛ん。 ・「一人っ子政策」の影響で、兄弟がいない子どもも多い。 ・受験に熱心で、飛び級の制度もある。 ・農村の子どもは、家畜の世話など家の仕事をよく手伝う。	[知技]ノート
(4) 中国の伝統的な文化			
・調べる 中国には、どのような文化や行事があるのでしょうか。 p.78～79	1	①中国の文化や行事について、収集した資料を活用して調べ、話し合う。 ・中国から、お茶や漢字が日本に伝わった。 ・遣隋使や遣唐使について歴史で学んだ。 ・中国には、50以上の民族がいて、服装や習慣などの生活様式がそれぞれ違う。 ・伝統的な行事である春節は、日本の正月にあたる。故郷に帰省する人も多い。 ・日本にも、横浜や神戸に中華街や南京町があり、春節の行事を盛大に行っている。 ・世界文化遺産の「万里の長城」を見に、日本からも観光客が訪れる。	[知技]ノート

(5) 経済が発展した中国と人々の生活			
・調べる 中国の産業の発展によって、人々の生活は、どのように変化したのでしょうか。 p.80～81	1	①産業の発展によって、人々の生活はどのように変化したのか、インタビューや資料を活用して調べ、話し合う。 - 急速な発展によって、生活スタイルが変化した。タワーマンションが増えた。 - 発展とともに、公害対策や労働環境の改善が求められるようになった。 - 経済特区と呼ばれる外国の企業も進出する地区がある。 - 日本と貿易も盛んで、たくさんの商品を中国から輸入している。 - 日中の留学生が、両国の結びつきを深める上で期待されている。 ②中国について調べてきたことを、ノートや作文に整理し、話し合う。 - 日本と大切なパートナーである。 - オリンピックやパラリンピックが開催された。中国のよさを見つきたい。	[知技]ノート
韓国と日本 p.82～87			
(3) 韓国の人々の生活			
・調べる 韓国の学校の様子、伝統的な行事や習慣は、どのようなものなのでしょうか。 p.82～83	1	①韓国の学校の様子、伝統的な行事や習慣について、インタビューや資料を活用して調べ、話し合う。 - 日本の学校と似ている点がたくさんある。 - 英語とコンピューターの授業がさかん。 - 日本からの観光客がとても多い。 - ソルラルという旧正月は、大切な行事の一つである。 - 韓国も日本と同じで、5月5日にオリニラルといわれる子どもの日がある。 - 韓国式のサウナは日本人にも人気がある。	[知技]ノート
(4) 韓国の文化と日本との交流			
・調べる 韓国の文化には、どのような特色があるのでしょうか。 p.82～83	1	①韓国の文化には、どのような特色があるのか、インタビューや資料を活用して調べ、話し合う。 - 主食は米で、日本と同じようにはしやスプーンを使うが、食器の使い方が違う。 - 昔は漢字を使っていたが、現在ではハングルという文字を使っている。 - 儒教の教えが大切にされ、長老を敬う考えが浸透してい	[知技]ノート

		・キムチは、韓国の代表的な保存食。 ・民族衣装や年中行事などの伝統が大切に受け継がれている。 ・日本と韓国は、スポーツやアニメ、音楽などの文化の交流がさかん。	
(5) 産業の発展と人々の生活			
・調べる 韓国の人々の生活にかかわる産業には、どのような特色があるのでしょうか。 p.86～87	1	①韓国の人々の生活にかかわる産業の発展や特色について、インタビューや資料を活用して調べ、話し合う。 ・第二次世界大戦後は、朝鮮は韓国と北朝鮮にわかれた。 ・韓国は、ソウルオリンピックを開催した。 ・半導体や薄型テレビなどの産業が発展している。 ・世界規模の電機メーカーも多くあり、世界150以上の都市と結ばれたハブ空港を備え、物や人々の行き来がさかん。 ②韓国について調べてきたことをノートや新聞に整理して、振り返る。 ・韓国は、伝統を大切にしている。 ・学校生活は、日本と似ている部分が多い。 ・年中行事や儒教の教えを大切にしている。	[知技]ノート・新聞
サウジアラビアと日本 p.88～93			
(3) 気候に合わせてくらしと宗教			
・調べる サウジアラビアの人々の生活にかかわる気候や宗教には、どのような特色があるのでしょうか。 p.88～89	1	①サウジアラビアの人々の生活にかかわる気候や宗教には、どのような特色があるのか、資料を活用して調べ、話し合う。 ・夏はとても暑い、冬には気温が大きく下がる。 ・砂漠のイメージが強いが、雨や雪の降る地域や都市がある。 ・アラビア語を話し、イスラム教を信仰している。 ・イスラム教では、1日5回のお祈りをし、1か月間、日中は食事をとらないラマダンを行う義務がある。 ・食べ物や食べ方に特色がある。	[知技]ノート
(4) サウジアラビアの人々の生活			
・調べる サウジアラビアの生活の様子や学校には、どのような特色があるのでしょうか。 p.90～91	1	①サウジアラビアの生活や学校の様子には、どのような特色があるのか、資料を活用して調べ、話し合う。 ・昼間が暑く、外出する人が少	[知技]ノート

		ないことから、大型スーパーは夜遅くまで営業している。 ・学校などの公共の場は、男女の区別がある。 ・小学校は日本と同じく6年間通う。コーランの授業が毎日あるのが日本と違う。 ・公立学校では、大学まで授業料が無料。 ・学校でもお祈りの時間がある。	
(5) 石油の国、サウジアラビア			
・調べる サウジアラビアの産業と人々の生活には、どのようなかわりがあるのでしょうか。 p.92～93	1	①サウジアラビアの産業と人々の生活について、資料を活用して調べ、話し合う。 ・日本は石油をサウジアラビアから最も多く輸入している。 ・サウジアラビアは、石油を輸出して得たお金を教育や福祉に使っている。 ・最近では、観光業に力を入れている。 ・サウジアラビアにも世界文化遺産がある。 ・サウジアラビアでは、日本車が輸入され、子どもは日本のアニメをよく見ている。 ②サウジアラビアについて調べてきたことをノートに整理して振り返る。 ・サウジアラビアは、宗教の教えを大切にしている。 ・日本と産業でつながりが深い。 ・サッカーやらくだレースがスポーツではさかん。	[知技]ノート
(6) 日本とつながりの深い国々について話し合う			
・まとめる 学習問題について調べてきたことを話し合い、自分の考えを意見文にまとめ、発表会を開きましょう。 p.94～95	1	①学習問題について調べてきたことを話し合う。 ・学校生活では、四つの国とも日本と似ているところや違うところがある。 ・アメリカや中国などの伝統的な行事が日本でも行われている。 ・調べてきた国は、どの国も産業などでつながりが深い。 ②日本と似ているところと、大きく違うところを表に整理して、話し合う。 ・日本の正月の行事は、韓国や中国など近い国と似ている。 ・サウジアラビアの生活は、宗教の影響が強いところが日本と違う。 ③学習問題に対して、考えたことを意見文にまとめ、発表する。 ・異なる習慣や文化も、認め合うことが大切である。	[知技]ノート・意見文 [思判表]ノート・意見文

		・アジアなど近い国は、学校生活など日本と似ているところが多かった。	
(7) 国際交流について考えよう			
・ いかす 国際交流について調べ、そのよさについて話し合ひましょう。 p.96～97	1	①オリンピック・パラリンピックと国際交流について調べ、話し合う。 ・オリンピックは、スポーツを通して、体と心をきたえ、世界の国々が交流し、平和な社会をつくることを大切にしている。 ・年々、参加国が増えている。 ②国際交流について調べ、話し合う。 ・留学生などとコミュニケーションを図る。 ・日本の伝統芸能である「歌舞伎」は多くの国で公演するなど世界に広める努力をしている。 ③スポーツなどの国際大会で多くの外国の人が日本に来た時に、どのようにかわることが必要なのかを考え、キャッチフレーズとその理由をまとめる。	[思判表] ノート・キャッチフレーズ [態度] ノート・キャッチフレーズ

小単元名	2. 世界の未来と日本の役割			教科書の ページ	政治・国際編 p.100～111
配当時数	6時間	活動時期	3月	学習指導要 領の内容	(3)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		グローバル化する世界の日本の役割について、地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	- 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。 - 調べたことを図表や文などにまとめ、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、問いを見だし、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について考え表現している。 - 地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子を関連付けて、国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり、学習したことを基に今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりして、表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	- 国際社会において我が国が果たしている役割について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 世界の各地で起こる紛争			
・つかむ 世界のさまざまな課題と解決に向けた取り組みを調べ、学習問題をつくりましょう。 p.100～101	1	①世界で紛争が起こっていることを調べる。 - 紛争が世界各地で起こっている。 - 特にアフリカ大陸や中東で多く起こっている。 - 紛争を防ぐことができるのだろうか。 ②紛争の他に、世界にどのような課題があるのかを明らかにし、これらを解決するための取り組みについて調べるための学習問題をつくる。 - 地球温暖化などの環境問題や難民、食料問題などがある。 - これらの課題をどのように解決しようとしているのだろうか。 - 国際連合はどのような働きをしているのだろうか。 - 日本の人々は関わっているの	[思判表] 発言・ノート

		だろうか。 学習問題 世界のさまざまな課題を解決するために、日本は世界と協力して、どのような活動をしているのでしょうか。	
(2) 国際連合で働く人々			
・調べる 国際連合で、日本の人々はどのようなことをしているのでしょうか。 p.102～103	1	①国際連合の特色や日本の関わりについて調べる。 ・1945年に発足し、2018年までに193か国が加盟している。 ・各機関の活動は加盟国からの分担金や募金などでまかなわれている。 ・日本は、1956年に加盟した。 ・日本はアメリカに次いで多くの分担金を出している。 ②ユニセフなどの取り組みを調べ、その働きや日本の取り組みを調べる。 ・国連では、戦争や紛争の予防や調停、復興支援などがある。 ・例えば、ユニセフでは厳しい暮らしをしている地域の子どもたちを助ける目的で作られた。日本も戦後すぐのころ、ユニセフから給食の支援を受けた。 ・日本は、国際連合の一員として世界各地の平和維持活動に参加してきた。	[知技] 発言・ノート
(3) 持続可能な社会をめざして			
・調べる 豊かさと環境保全を両立させるために、世界や日本はどのような努力や協力をしているのでしょうか。 p.104～105	1	①「持続可能な社会」の意味や具体的な取り組みを明らかにする。 ・世界には様々な環境問題がある。 ・未来にわたってより多くの人々が豊かな生活を送るためには、国連などの計画にもとづいた国際的な協力が必要である。 ・2015年に開かれた国連気候変動枠組条約を結んだ国々の会議では、温室効果ガスの削減目標などが定められた。 ②「持続可能な開発目標（SDGs）」について調べ、持続可能な社会を実現するための取り組みがあることを理解し、これからの日本の取り組みを考える。 ・SDGsには多くの目標がある。 ・2030年までの行動計画である。 ・「だれひとり取り残さない」という理念のもとに設定された目標である。	[知技] 発言・ノート

(4) 国際協力の分野で活やくする人々			
・調べる 日本は、どのような国際協力の活動をしているのでしょうか。 p.106～107	1	①ODAの意味や青年海外協力隊の具体的な取り組みを調べる。 - ODAとは政府による国際協力の活動である。 - ODAの一つである青年海外協力隊は、教育や医療、農業などの分野で活躍している。 ②NGOの意味を捉え、具体的な取り組みを調べる。 - NGOは国連や各国の政府から独立して活動している民間の団体である。主に、募金や寄付金、ボランティアなどで支えられている。 - 日本にも、医療や環境など、専門性を生かした分野で活やくしている多くの団体があり、世界各地でさまざまな国際協力の活動を行っている。	[知技]発言・ノート
(5) 学習問題についてふり返り、考えをノートにまとめる			
・まとめる 学習問題について調べたことをふり返り、自分の考えをノートにまとめましょう。 p.108～109	1	①これまでに調べた、様々な機関やそれに携わる日本人々が世界の様々な課題を解決するために取り組んでいることを想起してその意味や役割を話し合う。 - 世界には、紛争、環境問題、貧困などの様々な問題があった。 - これらの課題を解決するために、国連の様々な機関やODA、NGOなどが取り組んでいた。 - 日本人々も様々な分野で活躍した。 ②自分の考えをノートにまとめ、発表する。	[知技]発言・ノート [思判表]発言・ノート
(6) 紛争や難民をなくすために			
・いかす これからを生きるわたしたちにできることを考えましょう。 p.110～111	1	①本文を読んで世界の課題が十分に解決されているかどうかを調べ、自分たちができることを考える。 - 世界には紛争などの影響で難民となった人がいて、その半数は子どもであり、またその中には親をなくしている子どもも多くいる。 - 国連から届けられる物資は十分ではなく、健康を害する人や栄養を十分にとることができない子どもたちも世界にたくさんいる。 - 地域の復興がなかなか進まないこともある。 - 平和を続けることが難しい場合がある。	[思判表]発言・ノート [態度]発言・ノート